

デジタル田園都市国家構想交付金

デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、「デジタル田園都市国家構想交付金」により各地方公共団体の意欲的な取組を支援

地方創生推進タイプ

- ▶ 観光や農林水産業等の地方創生に資する取組を支援（ソフト事業）

交流人口の拡大



農産物の
生産・流通拡大



地方創生拠点整備タイプ

- ▶ 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援（ハード事業）

文化施設



交流拠点



デジタル実装タイプ

- ▶ デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援

書かない窓口



遠隔医療



地域アプリ



デジタル田園都市国家構想交付金 事業一覧

■ 地方創生推進タイプ

No	施策名	年度
1	SAGAの未来を支える担い手確保プロジェクト	R 5～7
2	未来創造型のチャレンジ研究を主軸とした大学連携推進事業	R 5～7
3	まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト	R 3～7
4	唐津エリアの未来を紡ぐ唐津プロジェクト推進事業	R 4～6
5	佐賀の本物の魅力醸成・発信プロジェクト	R 4～6
6	JAXA連携を活かした宇宙関連産業創出、人材育成事業	R 4～6
7	歩くライフスタイルの推進によるまちの賑わい創出・地域活性化プロジェクト	R 4～6
8	SAGAアリーナを核とした交流人口増加と地域活性化事業	R 4～6
9	稼げる“さが”農業推進プロジェクト	R 4～6
10	SAGAスポーツピラミッド推進プロジェクト	R 2～6
11	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト	R 2～6
12	佐賀県地方創生移住・地域活性化等起業支援事業	R 1～6
13	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	R 5～9
14	佐賀県女性就業支援事業	R 3～6
15	大隈重信没後100年および鉄道開業150年を契機とした日本初の鉄道建設・高輪築堤の英断継承事業	R 3～5
16	デジタルトランスフォーメーションによるSAGAイノベーションプロジェクト	R 3～5

■ 地方創生拠点整備タイプ

No	施策名	年度
1	JAXA連携を活かした文化観光施設の磨き上げに伴う地域活性化・人材育成事業	R 5
2	ICTを活用した「佐賀牛」の生産教育施設整備事業	R 4
3	北山湖エリア自然体験施設再整備事業	R 4
4	くすかぜ広場再整備事業	R 3
5	地域に所得を生み出すイチゴの生産性向上技術の確立とその技術を普及させる人材育成のための研究・研修施設整備事業	H31

■ デジタル実装タイプ

No	施策名	年度
1	サガンスギの森林100年構想事業	R 5
2	佐賀 Civil Society Organizations (市民社会組織) 誘致事業	R 5
3	SSPスポーツ科学大学連携設備整備費補助	R 5
4	施設園芸DX推進プロジェクト	R 5
5	SAGA2024競技会を楽しむ環境づくり事業	R 5
6	電子申請等推進事業	R 5
7	工業技術センターDX推進事業	R 4
8	窯業技術センターDX推進事業	R 4
9	県土整備DX推進事業	R 4
10	SSPアスリート育成設備整備事業	R 4
11	デジタル活用ものづくり魅力発信事業	R 4
12	県産品の情報発信拠点におけるテストマーケティング機能強化事業	R 4
13	行政デジタル化推進事業	R 4
14	認知機能検査デジタル推進化事業	R 4

I SAGAの未来を支える担い手確保プロジェクト(R5~R7年度)

事業目的	・都市圏から、人の呼び込みを図る ・佐賀の産業を支える担い手の確保を図る ・地域づくり、地域活性化への支援を図る						
事業概要・主な経費	<p>○佐賀県における暮らしや仕事の情報に一元的に触れられる移住フェアの開催</p> <p>○佐賀県から若者の人材流出が多い都市圏において、佐賀の仕事、暮らしの素晴らしさを伝える相談会を開催</p> <p>○地域における新規就農者の支援体制の構築を図りつつ、幅広い就農ルートから数多くの新規就農者の確保、定着を支援（補助金（協議会等組織））</p> <p>○農業への企業・法人等参入への理解醸成、参入候補となる農地情報の整理、企業・法人への情報発信</p> <p>○労働力確保支援のための体制整備、農福連携の定着・推進や外国人材活用の推進など多様な人材の活用促進</p> <p>○県内工業系高校生などを対象に、建設業の出前講座や体験会、魅力発信の実施</p> <p>○経営の高齢化などの課題がある県内中小企業等の円滑な事業承継を実現するためのシンポジウムや情報発信の実施</p> <p>○中山間地域の集落や産地等が主体的に行う「農業・農地を守る取組」、「農業所得を向上させる取組」「地域の活性化に向けた取組」に対して支援（補助金（市町））</p> <p>○精力的に地域づくり活動を実践している人材（ローカリスト）や地域づくりに興味のある人材（ネクストローカリスト）との交流会の開催等により地域づくり活動のきっかけを創出</p>						
交付対象事業費	R5:68,944千円、R6:116,904千円、R7:114,555千円						
KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計
	①他都道府県からの移住者数(人)	目標	114	185 (+71)	191 (+6)	197 (+6)	(+83)
		実績	129	207 (+78)	- (-)	- (-)	(+78)
	②しごと相談室を通じたUJIターン就職者数(人)	目標	60	62 (+2)	64 (+2)	67 (+3)	(+7)
実績		48	52 (+4)	- (-)	- (-)	(+4)	

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	<p>・KPI①②ともに目標値を達成することができたものの、人口減少や高齢化、未来の担い手となる若い世代の人口流出傾向は続いており、引き続き、各分野の担い手の確保は喫緊の課題である。</p> <p>・今後、県外在住者の県内就職促進については、関東圏、関西圏、福岡でのイベント実施に加え、名古屋での情報発信など、範囲を拡充して実施する。また、首都圏、関西圏に進学した大学生へのイベント広報を強化するために、首都圏事務所、関西・中京事務所と連携し、大学への訪問回数を増やすことでイベント等をPRしていく。</p>
--------------------------	--

事業目的
 大学との連携を早急に強化することにより、佐賀県の施策を効率的に進める上で県が抱える課題やニーズに合った技術研究として、県民の安全・安心な地域づくりや産業の振興などにつながるだけでなく、そこで培われた新たなシーズが民間企業との共同研究や事業の実装に発展して新たな産業を生み出す。
 また、これらの地域貢献や地域課題の解決に資する取組を県内外へ幅広く発信していくことで、進学希望の高校生などにとっての高等教育機関の魅力向上、県内高等教育機関をハブとした若年層の活躍の場の拡大、キャリア向上を志す若者の佐賀への定住促進などに繋がり、県内高等学校から自県大学への進学率の向上にも寄与していくことを目指す。

事業概要
 1 佐賀大学等との連携事業
 2 コンベンションの開催



交付対象事業費 R5:50,125千円、R6:75,402千円、R7:108,652千円

KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI	事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	
	①県内高等教育機関との連携事業数(延べ新規取組)(件)	目標	0	12 (+12)	24 (+12)	39 (+15)	(+39)
		実績	0	13 (+13)	- (-)	- (-)	(+13)
	②申請事業を通じた研究テーマの本格的な社会実装や事業化、若しくは産学官連携等に着手した件数(件)	目標	0	0 (0)	0 (0)	2 (+2)	(+2)
		実績	0	0 (0)	- (-)	- (-)	(0)
	③県内高等学校から自県大学への進学率の向上(%)	目標	16.70	17.00 (+0.30)	18.00 (+1.00)	19.00 (+1.00)	(+2.30)
		実績	16.70	15.40 (▲1.30)	- (-)	- (-)	(▲1.30)

現状や課題
 (阻害要因の把握・分析・対応)

【現状・課題】
 ・新型コロナウイルスが「5類」に移行したことに伴い、県外への進学希望者が再び増加し、県内大学への進学率向上の足かせとなっている。

【今後の対応】
 ・TSUNAGIプロジェクトは県内大学の魅力向上に資する取組の一環ではあるが、一朝一夕に効果が得られるものではない。
 ・そのため、これまで取り組んできた連携事業の中から本格的な社会実装や事業化へと発展するものが生まれ、県内大学の魅力度・社会貢献度がさらに向上するよう努めるとともに、研究の出口をより強く意識したマッチングを図りながら新たな連携事業を創出していく。

事業目的	・新幹線開業に伴う誘客の効果を広域的に波及させるため、新たなコト・コンテンツの造成や情報発信、受入体制の強化により、リピーター確保や宿泊者数の増加を図り、観光消費額の拡大につなげる。 ・特長ある自然資源を活かし、自然を体験するアウトドアツーリズムによる周遊観光を促進し、宿泊客数の増加を図り、観光消費額拡大につながる取組を行う。
------	---

事業概要	(1) 地域の観光資源の高付加価値化や新たなコンテンツの発掘、磨き上げ等にチャレンジする事業者への支援を実施。 (2) 日本遺産に認定されている佐賀県・長崎県にまたがるやきものづくりが盛んなエリア「肥前窯業圏」の魅力を発信するため、圏域内の周遊を促進する事業や広報、商品開発などを実施。 (3) 佐賀県と長崎県が共同で制作する観光情報誌の発行や、2022年の佐賀・長崎 destinations キャンペーン事業で磨き上げた観光素材の流通促進・販売支援を実施。 (4) 佐賀県の持つ自然、文化、食といった観光資源を活かしたサイクルツーリズムの情報発信や、サイクリストの受入環境整備を実施。 (5) 自然公園等の魅力向上や利用促進につなげるため、九州自然歩道のホームページを管理・運営し、魅力的な情報発信を実施。	
------	---	---

交付対象事業費	R3:116,807千円、R4:85,459千円、R5:91,693千円、R6:76,306千円、R7:145,076千円
---------	---

KPI	KPI		事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	累計
	①観光消費額(億円)	目標	3,778	3,944.04 (+166.04)	3,992.12 (+48.08)	4,040.24 (+48.12)	4,088.40 (+48.16)	4,136.64 (+48.24)	(+358.64)
	実績	3,778	1,859.41 (▲1918.59)	2,690.94 (+831.53)	3,534.80 (+843.86)	- (-)	- (-)	(▲243.20)	
②観光客(宿泊)のリピーター率(%)	目標	58.60	61.90 (+3.30)	63 (+1.10)	64 (+1.00)	65 (+1.00)	66 (+1.00)	(+7.4)	
	実績	58.60	65 (+6.40)	58.40 (▲6.60)	62.80 (+4.40)	- (-)	- (-)	(+4.20)	
③観光消費単価(宿泊客)(円)	目標	31,921	32,600 (+679)	32,800 (+200)	33,000 (+200)	33,200 (+200)	33,400 (+200)	(+1,479)	
	実績	31,921	32,477 (+556)	33,910 (+1,433)	36,031 (+2,121)	- (-)	- (-)	(+4,110)	

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	(1) 新たな観光商品の造成や磨き上げ等を行う事業者への支援を行ったが、さらなる誘客のためには魅力あるコンテンツの継続的な創出と既存コンテンツの定着化が必要である。今後は新規性や継続性等に重点を置き、自走化できる取組への支援やフォローアップを集中的に行っていく。 (2) 日本遺産に認定された肥前窯業圏において、圏域内のやきもの関連施設などを巡る周遊促進事業や、圏域の案内や魅力を伝えられる人材の育成、窯ガチャ(焼き物のミニチュアのカチャガチャ)の販売による収益確保を実施。このほか、圏域内に在住する地域プロデューサーや窯元とともに、やきものカジュアルブランド「HIZEN5」の商品開発ならびに販路開拓に取り組んだ。このような取り組みを通じて情報発信等を行った結果、圏域の素晴らしさを知っていただくきっかけを作ることができた。これまでの取り組みを継続しながら、自走を見据えて更なる収益の確保を行っていく。 (3) 佐賀県と長崎県で連携して情報発信や誘客促進に取り組む、目的地として捉えられやすくなってきている。これまでの取組をより効果的なものとするために、今後は、観光素材の流通促進・販路拡大に取り組むとともに、佐賀県及び長崎県来訪のきっかけとなるよう継続的な情報発信を行い、旅行者や消費額の増加につなげる。 (4) SCC(佐賀サイクリングクラブ)情報発信事業を継続して行ったが、観光周遊を促進し観光消費を増やしていくためには、非サイクリスト層(一般層)に向けた情報発信を更に強化する必要がある。今後は一般層であってもサイクリングしながら楽しむことができるデジタルラリーイベントの実施やSCC公式Instagramを通じた情報発信を行うことで、佐賀県におけるサイクルツーリズムへの一般層の取り込みを図る。 (5) 九州自然歩道のホームページについて、八幡岳と黒髪山エリアのモデルコースを仮想体験できるようにSNS配信や動画配信を行うことで、ホームページのコンテンツの充実を図ったものの、現状はホームページ自体の認知度が低く、この点を課題に感じている。今後は、SNSでの広告や情報発信を行うことで、ホームページの認知度向上を図る。
--------------------------	---

事業目的
唐津エリアにおいて、唐津エリアの真の豊かさ、素晴らしさを磨きあげるとともに、地域の自発的・主体的な取組をサポートする「唐津プロジェクト」を推進することにより、様々な地域で様々な光が輝き、多くの人々が唐津エリアを訪れ、人と人とが出会う交流を生み出す好循環を創出する。

事業概要・主な経費

- 1 全国の武将が集った名護屋城跡・陣跡の磨き上げによる文化観光の推進
・大茶会イベントの開催、「黄金の茶室」・「草庵茶室」展示運営等
- 2 水産物の安定供給
・漁業のスマート化推進にむけた漁船による実証試験、唐津産水産物PRキャンペーン等
- 3 名護屋城博物館常設展示リニューアル
・常設展示の一部リニューアル設計・工事等



交付対象事業費 R4:188,397千円、R5:114,865千円、R6:148,340千円

KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	①名護屋城博物館の入館者数(人)	目標	47,710	57,710 (+10,000)	67,710 (+10,000)	82,710 (+15,000)
実績		50,670	94,499 (+43,829)	97,498 (+2,999)	- (-)	(+46,828)
②唐津エリアの新規漁業就業者数(人)	目標	4	14 (+10)	24 (+10)	34 (+10)	(+30)
	実績	9	11 (+2)	20 (+9)	- (-)	(+11)
③唐津エリアにおける観光客数(千人)	目標	4,212	4,633 (+421)	5,054 (+421)	5,896 (+842)	(+1,684)
	実績	4,212	2,186 (▲2,026)	3,165 (+979)	- (-)	(▲1,047)

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)

①名護屋城博物館の入館者数(人)については、令和5年度は前年度入館者数から2,999人増加しており、現時点において既に3年間の目標である35,000人の増加が達成できている。今年度は、肥前名護屋城跡及び周辺を会場とした第3回名護屋城大茶会(令和6年3月23日)の開催をはじめ、大阪お城フェス2023等でのPRブース出展など、県内外からの誘客につながるような情報発信等を行った。また、豊臣秀吉が名護屋城山里丸に建てた「草庵茶室」を発掘調査結果や史料などを基に復元制作(令和6年3月23日より常設展示)し、また、常設展示の一部リニューアルに係る展示設計等(令和6年度施工予定)を実施するなど、城跡・陣跡への周遊の更なる促進を図ることとしている。
今後も、「名護屋城大茶会」や「黄金の茶室」「草庵茶室」を活用した体験プログラム等の実施、常設展示リニューアルの施工といったソフト・ハードの両面から取組を進め、名護屋城がもつ本物の価値を国内外に広く発信し、文化観光地としての認知度向上を図り、城跡・陣跡を起点に地域周遊につながっていくよう磨き上げを行っていきたい。

②唐津エリアの新規漁業就業者数(人)については、令和5年度は目標10人に対し、9人という結果であった。就業は複合的要因に左右され、目標達成の阻害要因の特定は難しいが、コロナ禍時期でのPR不足等により漁業就業研修者の確保が難しかったことが挙げられる。一方、KPI自体は昨年度より改善しており、現在研修中で、来年度以降に就業予定の者もいるため、今後、効果的なPRや就業支援の実施により、漁業研修実施者を確実に獲得することでKPI達成を目指したい。

③唐津プロジェクト推進事業の全体的な指標である唐津エリアにおける観光客数(人)については、新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要の大幅な減少となっていたが、令和5年5月に5類移行となったことにより観光客数が徐々に回復傾向にあり、令和5年度は前年度から979人の増加となった。当エリアには他には無い、本物の地域資源があふれており、引き続き、唐津・玄海エリアの魅力溢れる地域資源を掘り起こし、本物の価値の磨き上げに取り組み県内外に情報発信していきたい。

事業目的	数多くある佐賀の「本物」に磨きをかけ、それらを東京オリパラを契機として関係を深めた連携相手国とのネットワークを活用することにより、国内外へ効果的に発信する。コロナ禍を経て普及したオンラインやICT、SNS、WEBサイト等のデジタル技術を活用し、個々の県産品が持つ魅力をストーリー性のある内容でPRすることで佐賀の魅力を的確に発信する。国内外で佐賀ファンを創出し、その反響・反応が地元へ帰ることにより更に「本物」に磨きをかけ、機運を高める好循環を創出する。																																																			
事業概要・主な経費	○重点連携国情報発信事業 ○佐賀牛によるEU市場参入プロジェクト ○佐賀ん酒体験空間「SAGA BAR」推進事業 SAGA BARの県内外でのプロモーション ○食材と器と料理人が織りなす食文化創造事業 ・産地ツアーやレストランイベント等の実施、レストラン経営等に関するノウハウ支援、料理人等が交流できるプラットフォームの形成 ○EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援事業																																																			
交付対象事業費	R4:125,362千円、R5:102,992千円、R6:136,263千円																																																			
KPI 上段:実績値 下段():増加分	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th></th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①県内酒蔵の清酒・焼酎・リキュールの輸出数量キロリットル)</td> <td>目標</td> <td>192</td> <td>198 (+6)</td> <td>208 (+10)</td> <td>218 (+10)</td> <td>(+26)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>192</td> <td>308 (+116)</td> <td>247 (▲61)</td> <td>- (-)</td> <td>(+55)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②県産食材及び器と国内外レストラン(シェフ)との新たな取引件数(新規顧客契約件数)(件)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>10 (+10)</td> <td>20 (+10)</td> <td>35 (+15)</td> <td>(+35)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>37 (+37)</td> <td>82 (+45)</td> <td>- (-)</td> <td>(+82)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③「SAGA BAR」常設店舗及びイベントへの国内外からの来店者数(延べ人数)(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>2,000 (+2,000)</td> <td>18,000 (+16,000)</td> <td>34,000 (+16,000)</td> <td>(+34,000)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>2,877 (+2,877)</td> <td>39,587 (+36,710)</td> <td>- (-)</td> <td>(+39,587)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①県内酒蔵の清酒・焼酎・リキュールの輸出数量キロリットル)	目標	192	198 (+6)	208 (+10)	218 (+10)	(+26)	実績	192	308 (+116)	247 (▲61)	- (-)	(+55)	②県産食材及び器と国内外レストラン(シェフ)との新たな取引件数(新規顧客契約件数)(件)	目標	0	10 (+10)	20 (+10)	35 (+15)	(+35)	実績	0	37 (+37)	82 (+45)	- (-)	(+82)	③「SAGA BAR」常設店舗及びイベントへの国内外からの来店者数(延べ人数)(人)	目標	0	2,000 (+2,000)	18,000 (+16,000)	34,000 (+16,000)	(+34,000)	実績	0	2,877 (+2,877)	39,587 (+36,710)	- (-)	(+39,587)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																														
①県内酒蔵の清酒・焼酎・リキュールの輸出数量キロリットル)	目標	192	198 (+6)	208 (+10)	218 (+10)	(+26)																																														
	実績	192	308 (+116)	247 (▲61)	- (-)	(+55)																																														
②県産食材及び器と国内外レストラン(シェフ)との新たな取引件数(新規顧客契約件数)(件)	目標	0	10 (+10)	20 (+10)	35 (+15)	(+35)																																														
	実績	0	37 (+37)	82 (+45)	- (-)	(+82)																																														
③「SAGA BAR」常設店舗及びイベントへの国内外からの来店者数(延べ人数)(人)	目標	0	2,000 (+2,000)	18,000 (+16,000)	34,000 (+16,000)	(+34,000)																																														
	実績	0	2,877 (+2,877)	39,587 (+36,710)	- (-)	(+39,587)																																														

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	<p>・清酒・焼酎の輸出(KPI①)については、輸出の数量の約半数を占める米国、中国、香港への輸出量が大きく減少したことから、目標を下回った。要因としては、米国における消費マインドの減退の影響や、中国の景気減速及び日本産水産物輸入の一次停止等の措置に伴う高級日本食レストランの不振の影響等が考えられる。今後もプロモーションを継続し、新たな市場開拓や販路拡大を行う。</p> <p>・KPI②については、県内外の料理人が数多く産地ツアーに参加してくれたことから、目標を大きく上回る新規の取引に結び付けることができた。</p> <p>・今後も県内外の料理人への働きかけやプロジェクトの情報発信を積極的に行い、県産食材や器に興味を持ってもらうことで、産地ツアーやレストランイベント等を通じた新規取引に繋げていく。</p> <p>・KPI③については、「SAGA BAR」常設店舗の話題性やメディア等への露出、県内大型イベントとの連携等が功を奏したこと、また、首都圏や福岡県などの都市部でSAGA BARプロモーションを展開したことにより、目標を大きく上回る来店者数を記録することができた。</p> <p>・今後もSAGA BARブランドを活用したプロモーションを継続していくことで来店者数を増やし、佐賀酒を消費者へ訴求していく。</p>
--------------------------	---

事業の様子	  
-------	--

<p>事業目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県での宇宙関連産業の創出、佐賀県から宇宙(世界)で活躍する人材の育成を通じた地方創生を図る。 ・県内での宇宙関連産業に関する構造認識及び宇宙利用に関する認知度を向上させる。 ・佐賀県立宇宙科学館を拠点とした宇宙教育や佐賀県への誇りや愛着を醸成する取組みを通じて、次代を担う子どもたちの人材育成を図る。 	
<p>事業概要</p>	<p>○宇宙ビジネスを起点として、佐賀県の地域課題を解決するとともに、新たな市場として宇宙関連ビジネスを創出するために、多様なプレイヤーが共創し議論が生まれる場や社会実験の場を提供する。</p> <p>○宇宙を教材に佐賀や地球について関心を誘うカリキュラムを通じて、想像力、判断力、表現力を磨き、好奇心を掻き立て未来へチャレンジする心を育み、人材の育成につなげる。</p> <p>・JAXAGA SCHOOL小中学生の部</p> <p>○佐賀における宇宙活用や宇宙産業創出・育成を考え、高校生が超小型人工衛星「キューブサット」の打ち上げに向けた各種試験・準備を行う。</p> <p>・JAXAGA SCHOOL高校生の部</p>	<p>人工衛星データ活用</p>  <p>JAXAGA SCHOOL開催</p> 

交付対象事業費 R4:64,006千円、R5:116,825千円、R6:47,096千円

KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
①佐賀県立宇宙科学館の入館者数(人)	目標	270,000	300,000 (+30,000)	330,000 (+30,000)	365,000 (+35,000)	(+95,000)
	実績	119,409	166,138 (+46,729)	203,440 (+37,302)	— (—)	(+84,031)
②宇宙技術を活用した地域課題解決のアイデア創出・可能性検証数(件)	目標	0	3 (+3)	6 (+3)	9 (+3)	(+9)
	実績	0	3 (+3)	8 (+5)	— (—)	(+8)

<p>現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)</p>	<p>・衛星データを用いた地域課題解決のアイデアについて、庁内の関係課へヒアリングを実施。「地盤沈下の監視」や「玄海地域の藻場分布のトレンド把握」など、複数のアイデアを得ることができた。今後は、得られたアイデアの有効性を検証することで、衛星データの利活用モデルを確立し、衛星データ利活用の普及を図る。</p> <p>・JAXAGA SCHOOL小中学生の部において、小学生は定員以上の応募があるが、中学生の部は定員割れの状況。中学生になり、部活動等で土日にJAXAGASCHOOLに通う時間を作れない学生が多いと思われる。今後は、募集時に県内で科学部がある学校に個別に連絡をとるなど、本事業が宇宙や科学の分野に興味がある学生に届き、定員以上の応募がくるよう広報活動を積極的に行いたい。</p> <p>・JAXAGA SCHOOL高校生の部において、キューブサットの開発・運用等は非常に専門性の高い知識が必要となることから、専門機関の助言・アドバイス等を受けながら実施している。現状、スタッフだけでできることが限られており、外部の専門家への依存度が高いため、スタッフをはじめとする関係者のスキルアップを図るための取り組みを検討したい。</p>
----------------------------------	--

<p>事業目的</p>	<p>佐賀県は、自家用車依存度が高く、多様な手段での移動が意識されていない状況にあることから、「歩きたくなる」施設・設備の整備、商店や商工団体・地域団体等と連携したまちなかを歩く動機づけとなる仕掛け及び地域の魅力（観光、文化、歴史など）の向上につながる活動を通して、県民の歩くライフスタイルへの行動変容を促す。</p>	
<p>事業概要・ 主な経費</p>	<p>○パーク～佐賀駅～城内エリアを歩いて結ぶ仕掛けづくり ・佐賀駅からパークまでの沿道を歩き、まちの魅力を知るきっかけづくりを行うとともに、パークアンドライド等の移動の提案も併せて実施。 ・佐賀駅やまちなかで実施されるイベントと連動して城内エリアでも「歩く」イベントを実施し、街歩きやスタンプラリー等で佐賀駅と城内エリアを結ぶ仕掛けを展開。くすかぜ広場においては、まちなかで実施されるイベントのサテライト会場としての利用や例年実施される大規模イベント（ライトファンタジー、栄の国祭り、バルーンフェスタ等）と連携したイベントの実施等を行う。</p>	

交付対象事業費 R4:16,344千円、R5:11,000千円、R6:20,000千円

KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	①公共交通機関を以前と比べて利用するようになった人の割合(%)	目標		6.00	7.00 (+1.00)	8.00 (+1.00)	9.00 (+1.00)
実績			6.00 (R元年度)	3.80 (+0.00)	8.20 (+4.40)	- (-)	(+4.40)
②県内主要6駅の乗車人員実質増加率(%)	目標		100.00	101.00 (+1.00)	103.00 (+2.00)	106.00 (+3.00)	(+106.00)
	実績		100.00	112.77 (+12.77)	121.53 (+8.76)	- (-)	(+121.53)
③アプリ「SAGATOCO」登録者の1日あたりの平均歩数(歩)	目標		5,415.50	5,686.10 (+270.60)	5,956.70 (+270.60)	6,227.30 (+270.60)	(+811.80)
	実績		5,415.50	5,597.72 (+182.22)	5,677.01 (+261.51)	- (-)	(+443.73)

<p>現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッピングバスの運行等により、県民に広く、徒歩や公共交通を利用するきっかけを提供し、「歩くライフスタイル」の推進を図った。 ・県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」の活用を進め、県民の「歩く」習慣の定着をさらに進めていく。
----------------------------------	--

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・SAGAアリーナのオープンをきっかけに、新たな交流人口の増加を図り、飲食、宿泊などの観光需要の増加を図る。 ・SAGAアリーナで、これまで佐賀県になかった新しいイベントや新たなビジネスの創出を図る。
------	---

事業概要	<p>OSAGAアリーナ利活用推進事業(県内事業者・県民参加型イベントの開催)</p> <p>○「首都圏・海外営業及び招聘」及び「県内企業営業」</p> <p>○コンベンション等誘致PR費(コンベンション等開催支援補助、広報・主催者支援経費等)</p> <p>OSAGAサンライズパークアプリ開発費(機能追加の開発・実装)</p>	 
------	---	--

交付対象事業費	R4:110,073千円、R5:173,138千円、R6:69,700千円
---------	---------------------------------------

KPI	KPI	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	
							上段:実績値
	①SAGAアリーナの観覧者数(人)	目標	0	168,400 (+168,400)	453,400 (+285,000)	(+453,400)	
		実績	0	432,544 (+432,544)	- (-)	(+432,544)	
	②アリーナの興行数(件)	目標	0	0 (+0)	29 (+29)	67 (+38)	(+67)
		実績	0	0 (+0)	60 (+60)	- (-)	(+60)
	③SAGAサンライズパークの利用者数(人)	目標	496,686	506,619 (+9,933)	528,186 (+21,567)	579,854 (+51,668)	(+83,168)
		実績	470,455	649,198 (+178,743)	1,082,693 (+433,495)	- (-)	(+612,238)

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	<p>MICE10件を含め、R5年度中に60のイベントを開催し、来場者数は延べ43万人を突破。「多目的エンタメアリーナ」であることをオープン当初に広く示すことができた。</p> <p>今後全国的なアリーナ建設ラッシュの中で、引き続き、SAGAアリーナが選ばれるよう、イベントの主催者やプロモーターに対するPRに指定管理者と連携しながら取り組む。また、MICEの受入体制整備やMICE誘致の強みとなるコンテンツ作り等を官民連携で進め、SAGAアリーナで開催されるMICEの経済効果が県内全体に波及するよう取り組む。</p>
--------------------------	--

事業目的	・収益性の高い園芸農業の振興を図る ・農村ビジネスの推進により農業者の経営力の強化を図る ・佐賀牛の生産基盤の強化を図る ・県産農産物のブランド力の向上と販路の拡大を図る						
事業概要・主な経費	○園芸の生産拡大 ・消費者に選ばれる高品質ブランドイチゴ「いちごさん」の生産・流通技術の確立 ・園芸団地の整備・運営の支援 ・新たな露地野菜の産地づくりに係る実証試験圃の設置 ○佐賀牛の生産基盤の強化 ・優秀な種雄牛作出のための交配や検定の実施 ・繁殖仕向け用雌子牛の遺伝子評価に対する支援 ○農村ビジネスによる経営の多角化 ・コーディネータ及びクリエイターによる農村ビジネスの成功事例の創出 ・農産加工品の開発や農産加工施設、農家レストラン、農家民宿等の施設整備に対する支援 ○県産農産物のブランディングと販路拡大 ・「いちごさん」「にじゅうまる」のブランド力向上に向けた情報発信やイベントの実施 ・生産者と実需者や消費者とのマッチング						
交付対象事業費	R4:174,741千円、R5:176,715千円、R6:199,871千円						
KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	①いちごの10a当たり収量(kg)	目標	4,594	4,654 (+60)	4,714 (+60)	4,850 (+136)	(+256)
		実績	4,594	4,466 (▲128)	3,933 (▲533)	— (—)	(▲661)
	②農村ビジネスの新たな取組件数(件)	目標	0	25 (+25)	50 (+25)	75 (+25)	(+75)
		実績	0	25 (+25)	50 (+25)	— (—)	(+50)
	③肥育素牛の県内自給率(%)	目標	29.60	29.60 (+0.00)	30.06 (+0.46)	30.52 (+0.46)	(+0.92)
実績		29.60	29.30 (▲0.30)	28.50 (▲0.80)	— (—)	(▲1.10)	

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	<p>いちごの10a当たり収量について、KPIを達成できなかったのは、夏場の長雨や猛暑により苗の花芽形成が遅れ、定植後の生育及び出荷が全体的に遅れたこと、また、2月の曇天による日照不足で果実品質が低下したことが要因である。</p> <p>これらの対応として、気化熱により下温効果のある紙ポット育苗や育苗ハウスの環境改善等により、早期の花芽分化を誘導するとともに、引き続き、ハウス内環境の改善による商品果率向上やデータを活用した栽培技術の確立による収量向上を図る。</p> <p>農村ビジネスの新たな取組件数について、KPIを達成できたのは、総括クリエイター、重点支援農家(5件)及び専門クリエイターを選定し、目標年度に向けたプランの策定や各農家への支援を重点的に行ったことや、レストランや加工施設の整備や新商品化に向けた試作開発などを進めたこと、延べ244件の相談に対応したことやセミナー等で農村ビジネスに取り組む農業者等の掘り起こしを図ったことなどが要因である。</p> <p>引き続き、農林漁家への継続的な働きかけや支援を行うことにより、農村ビジネスの新たな取組の増加を図る。</p> <p>肥育素牛の県内自給率について、KPIを達成できなかったのは、子牛価格の低迷や配合飼料価格の高騰が続く、繁殖農家の規模拡大意欲が低下したことが要因である。</p> <p>これらの対応として、優良雌牛の導入、繁殖牛舎整備の支援等による繁殖農家の規模拡大、繁殖肥育一貫経営の取組推進、令和5年5月に稼働開始したブリーディングステーション「佐賀牛いろはファーム」の運営本格化により、肥育素牛の生産拡大を図る。</p>
事業イメージ	   

事業目的	①トップアスリートの育成により、多くの有望選手が佐賀で学びたいと思う ②仕事とスポーツを両立したライフスタイルが浸透し、スポーツ経験のある社会人が佐賀で暮らしてみたいと思う ③多くの企業がスポーツビジネスに参入し、新たなサービスや雇用の創出により、起業や投資意欲のある人が集まる地域になることで好循環を創り、佐賀にヒト、モノ、カネの流れがスポーツを切り口に生み出される姿を目指す。								
事業概要	(1) 人材育成事業 佐賀から世界に挑戦するトップアスリートの育成のため、一流指導者等から指導を受ける環境を整備する。 (2) 就職支援事業 アスリート・指導者が、県内企業に就職し、競技・指導を続けるため、企業とアスリート・指導者をマッチングする。 (3) 広報事業 SSP構想の県民・企業への周知を図る。								
交付対象事業費	R2:42,156千円、R3:59,831千円、R4:116,992千円、R5:139,741千円、R6:175,650千円								
KPI	KPI		事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	①県外からの流入アスリート数(人)	目標	37	52 (+15)	92 (+40)	157 (+65)	192 (+35)	227 (+35)	(+190)
		実績	37	71 (+34)	149 (+78)	211 (+62)	261 (+50)	— (—)	(+224)
	②SSP事業提携企業数(社)	目標	40	60 (+20)	80 (+20)	105 (+25)	130 (+25)	155 (+25)	(+115)
		実績	40	68 (+28)	95 (+27)	107 (+12)	113 (+6)	— (—)	(+73)
	③アスリート雇用エントリー企業(社)	目標	20	25 (+5)	30 (+5)	45 (+15)	60 (+15)	77 (+17)	(+57)
		実績	20	47 (+27)	69 (+22)	81 (+12)	84 (+3)	— (—)	(+84)
	④SSPアスリート認定者数(人)	目標	90	95 (+5)	100 (+5)	120 (+20)	130 (+10)	145 (+15)	(+55)
		実績	90	123 (+33)	178 (+55)	274 (+96)	380 (+106)	— (—)	(+290)

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	<p>佐賀から世界に挑戦するアスリートの育成と、「する、育てる、観る、支える、稼ぐ」など様々なスタイルでスポーツに関わる文化の拡大に取り組んでいる。</p> <p>取組の成果もあり、KPI①(県外からの流入アスリート数)、KPI③(アスリート雇用エントリー企業数)、KPI④(SSPアスリート認定者数)については、事業開始からの累計でみて目標値を達成しているが、KPI②(SSP事業提携企業数)については目標を下回っている。SSP構想の取組を始めて今年で7年目となり、着実にSSP構想が浸透してきた結果がでているが、さらにSSP構想と一緒に取り組んでくれる企業・団体を増やしていくことが課題であるため、アスリートを「支える」層に効果的なアプローチが必要となる。</p> <p>今後さらに、競技団体等と連携した人材育成、県内進学を希望する高校生のためのアスリート寮の整備・運営、練習環境の充実、デジタル技術やスポーツ医学に基づく育成スタイルの確立など、「育成県さか」の確立を目指すとともに、アスリートの県内企業への就職支援等を行い、社会人アスリートが佐賀で競技を続けることができる環境を整える。また、SSP構想に賛同し、選手採用や寄附、連携協定締結などにより、SSP構想を支える企業、団体が増えるように努める。</p>
事業イラスト	

<p>事業目的</p>	<p>県立高校の魅力や強みを磨き上げ、学校の魅力を積極的に発信することにより、県内外からの志願者を増加させ、学校の活性化を図るとともに、社会に有為な人材の育成・輩出を目指す唯一無二の誇り高い学校づくりを推進する。</p>
<p>事業概要</p>	<div style="text-align: center;"> <p>唯一無二の誇り高い学校づくりプロジェクト 令和5年度重点的取組</p> <p>～他には無いただ一つだけの魅力を持つ学校に～</p> </div> <p>OSAGAハイスクールプロモーション事業 特色ある高校における全国募集を行うネットワーク「地域みらい留学」を活用した生徒募集に県内高校2校が参画し、全国からの生徒募集を促進する。</p> <p>OSAGA唯一無二の学校魅力化実践事業 地域、企業、大学等と協働した学校運営組織による学校の魅力に取り組む。アドバイザーによる高校の魅力化の伴走支援を行う。</p>
<p>交付対象事業費</p>	<p>R5:20,000千円、R6:23,999千円</p>

<p>KPI 上段:実績値 下段():増加分</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①「高校を核とした関係人口」の数(=地域みらい留學生徒数+卒業後も地元に関わった大学生・社会人数+地域外からの高校への応援者数)(人)</td> <td>目標</td> <td>2,360</td> <td>2,560(+200)</td> <td>3,176(+616)</td> <td>3,631(+455)</td> <td>4,266(+635)</td> <td>5,085(+819)</td> <td>(+2,725)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2,360</td> <td>4,239(+1,879)</td> <td>3,948(▲291)</td> <td>5,194(+1,246)</td> <td>6,281(+1,087)</td> <td>—(-)</td> <td>(+3,921)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②「都市部での地方高校全国説明会」参加者数(人)</td> <td>目標</td> <td>2,093</td> <td>2,293(+200)</td> <td>2,543(+250)</td> <td>2,898(+355)</td> <td>3,328(+430)</td> <td>3,895(+567)</td> <td>(+1,802)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2,093</td> <td>3,456(+1,363)</td> <td>4,024(+568)</td> <td>4,368(+344)</td> <td>4,346(▲22)</td> <td>—(-)</td> <td>(+2,253)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数(件)</td> <td>目標</td> <td>292</td> <td>322(+30)</td> <td>476(+154)</td> <td>673(+197)</td> <td>793(+120)</td> <td>1,057(+264)</td> <td>(+765)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>292</td> <td>439(+147)</td> <td>773(+334)</td> <td>1,002(+229)</td> <td>1,741(+739)</td> <td>—(-)</td> <td>(+1,449)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数(団体)</td> <td>目標</td> <td>55</td> <td>60(+5)</td> <td>66(+6)</td> <td>74(+8)</td> <td>83(+9)</td> <td>93(+10)</td> <td>(+38)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>55</td> <td>68(+13)</td> <td>78(+10)</td> <td>100(+22)</td> <td>119(+19)</td> <td>—(-)</td> <td>(+64)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①「高校を核とした関係人口」の数(=地域みらい留學生徒数+卒業後も地元に関わった大学生・社会人数+地域外からの高校への応援者数)(人)	目標	2,360	2,560(+200)	3,176(+616)	3,631(+455)	4,266(+635)	5,085(+819)	(+2,725)	実績	2,360	4,239(+1,879)	3,948(▲291)	5,194(+1,246)	6,281(+1,087)	—(-)	(+3,921)	②「都市部での地方高校全国説明会」参加者数(人)	目標	2,093	2,293(+200)	2,543(+250)	2,898(+355)	3,328(+430)	3,895(+567)	(+1,802)	実績	2,093	3,456(+1,363)	4,024(+568)	4,368(+344)	4,346(▲22)	—(-)	(+2,253)	③「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数(件)	目標	292	322(+30)	476(+154)	673(+197)	793(+120)	1,057(+264)	(+765)	実績	292	439(+147)	773(+334)	1,002(+229)	1,741(+739)	—(-)	(+1,449)	④「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数(団体)	目標	55	60(+5)	66(+6)	74(+8)	83(+9)	93(+10)	(+38)	実績	55	68(+13)	78(+10)	100(+22)	119(+19)	—(-)	(+64)
KPI	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																																																						
①「高校を核とした関係人口」の数(=地域みらい留學生徒数+卒業後も地元に関わった大学生・社会人数+地域外からの高校への応援者数)(人)	目標	2,360	2,560(+200)	3,176(+616)	3,631(+455)	4,266(+635)	5,085(+819)	(+2,725)																																																																					
	実績	2,360	4,239(+1,879)	3,948(▲291)	5,194(+1,246)	6,281(+1,087)	—(-)	(+3,921)																																																																					
②「都市部での地方高校全国説明会」参加者数(人)	目標	2,093	2,293(+200)	2,543(+250)	2,898(+355)	3,328(+430)	3,895(+567)	(+1,802)																																																																					
	実績	2,093	3,456(+1,363)	4,024(+568)	4,368(+344)	4,346(▲22)	—(-)	(+2,253)																																																																					
③「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数(件)	目標	292	322(+30)	476(+154)	673(+197)	793(+120)	1,057(+264)	(+765)																																																																					
	実績	292	439(+147)	773(+334)	1,002(+229)	1,741(+739)	—(-)	(+1,449)																																																																					
④「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数(団体)	目標	55	60(+5)	66(+6)	74(+8)	83(+9)	93(+10)	(+38)																																																																					
	実績	55	68(+13)	78(+10)	100(+22)	119(+19)	—(-)	(+64)																																																																					
<p>現状や課題(阻害要因の把握・分析・対応)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の魅力ある教育環境や受入体制について都市部等へのプロモーションを展開しているが、募集定員には達していない。戦略的な情報発信が必要である。 ・「学校魅力強化委員会」による高校と地域等との協働した学校運営、学校魅力化アドバイザーによる魅力化に向けた伴走支援や教職員向け研修会を行うことで学校の魅力化が促進された。 ・「学校魅力化コーディネーター」を学校に配置し、地域等と協働した活動が推進された。生徒の全国募集活動については、地域等と協働しながら情報発信を強化していく。 ・「高校魅力化評価システム」を導入し、地域と連携した取組の価値を見える化しているが、学校での数値の分析が不十分などところがあるため、研修会等を行いPDCAサイクルの構築を図る。 																																																																												

事業目的	安定した雇用の創出や移住の促進等の取組により、人口移動による社会減を減らし、地域経済の縮小を抑え、地域に新しい活力を生み出すために、佐賀県への新しいひとの流れを創出する。また、求職者と企業等とのマッチング支援との相乗効果により、より多くの産業人材を確保するとともに、地域の社会的課題を解決する起業、事業承継又は第二創業を促進し、持続可能な活力ある地域を構築する。																													
事業概要	<p>1 佐賀県地方創生移住支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京23区内在住者又は通勤者(通学を含む)が、当県に移住し、所要の要件を満たす場合、移住に要する転居費用等の経済的負担を軽減するための移住支援金を支給することにより、移住を後押しする。 ・2019年度に改修を行ったマッチングサイト「さがUターンナビ」の保守・運営を実施し、より多くの求職者に当県の企業情報・求人情報を認知してもらうサイト運営を行う。 <p>2 佐賀県地域活性化等起業支援事業</p> <p>高齢化の進行や人口減少に伴う地域の担い手不足や移動手段の確保等、県が抱える地域課題の解消を図るため、地域課題の解決を目的とした社会的事業について起業する者及びSociety5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野での事業承継又は第二創業した者に対して起業支援金の給付や起業等に伴う伴走支援を行う。</p>																													
交付対象事業費	R1:17,453千円、R2:24,085千円、R3:48,554千円、R4:54,882千円、R5:80,754千円、R6:111,760千円																													
KPI 上段:実績値 下段():増加分	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①本移住支援事業に基づく移住就業者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>26 (+26)</td> <td>83 (+57)</td> <td>140 (+57)</td> <td>197 (+57)</td> <td>234 (+37)</td> <td>284 (+50)</td> <td>(+284)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0 (+0)</td> <td>2 (+2)</td> <td>21 (+19)</td> <td>50 (+29)</td> <td>83 (+33)</td> <td>- (-)</td> <td>(+83)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①本移住支援事業に基づく移住就業者数(人)	目標	0	26 (+26)	83 (+57)	140 (+57)	197 (+57)	234 (+37)	284 (+50)	(+284)	実績	0	0 (+0)	2 (+2)	21 (+19)	50 (+29)	83 (+33)	- (-)	(+83)
KPI		事業開始前	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計																					
①本移住支援事業に基づく移住就業者数(人)	目標	0	26 (+26)	83 (+57)	140 (+57)	197 (+57)	234 (+37)	284 (+50)	(+284)																					
	実績	0	0 (+0)	2 (+2)	21 (+19)	50 (+29)	83 (+33)	- (-)	(+83)																					

KPI 上段:実績値 下段():増加分	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②本移住支援事業に基づく移住起業者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>3 (+3)</td> <td>6 (+3)</td> <td>9 (+3)</td> <td>12 (+3)</td> <td>15 (+3)</td> <td>18 (+3)</td> <td>(+18)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0 (+0)</td> <td>1 (+1)</td> <td>3 (+2)</td> <td>4 (+1)</td> <td>6 (+2)</td> <td>- (-)</td> <td>(+6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③本起業支援事業に基づく起業者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>5 (+5)</td> <td>15 (+10)</td> <td>25 (+10)</td> <td>35 (+10)</td> <td>45 (+10)</td> <td>55 (+10)</td> <td>(+55)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>3 (+3)</td> <td>10 (+7)</td> <td>19 (+9)</td> <td>28 (+9)</td> <td>38 (+10)</td> <td>- (-)</td> <td>(+38)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>160 (+160)</td> <td>360 (+200)</td> <td>560 (+200)</td> <td>760 (+200)</td> <td>960 (+200)</td> <td>1,160 (+200)</td> <td>(+1,160)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>257 (+257)</td> <td>680 (+423)</td> <td>1,128 (+448)</td> <td>1,602 (+474)</td> <td>2,041 (+439)</td> <td>- (-)</td> <td>(+2,041)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数(世帯)</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>20 (+20)</td> <td>40 (+20)</td> <td>60 (+20)</td> <td>(+60)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>8 (+8)</td> <td>26 (+18)</td> <td>- (-)</td> <td>(+26)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計	②本移住支援事業に基づく移住起業者数(人)	目標	0	3 (+3)	6 (+3)	9 (+3)	12 (+3)	15 (+3)	18 (+3)	(+18)	実績	0	0 (+0)	1 (+1)	3 (+2)	4 (+1)	6 (+2)	- (-)	(+6)	③本起業支援事業に基づく起業者数(人)	目標	0	5 (+5)	15 (+10)	25 (+10)	35 (+10)	45 (+10)	55 (+10)	(+55)	実績	0	3 (+3)	10 (+7)	19 (+9)	28 (+9)	38 (+10)	- (-)	(+38)	④マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	目標	0	160 (+160)	360 (+200)	560 (+200)	760 (+200)	960 (+200)	1,160 (+200)	(+1,160)	実績	0	257 (+257)	680 (+423)	1,128 (+448)	1,602 (+474)	2,041 (+439)	- (-)	(+2,041)	⑤本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数(世帯)	目標	-	- (-)	- (-)	- (-)	20 (+20)	40 (+20)	60 (+20)	(+60)	実績	-	- (-)	- (-)	- (-)	8 (+8)	26 (+18)	- (-)	(+26)
KPI		事業開始前	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																																																														
②本移住支援事業に基づく移住起業者数(人)	目標	0	3 (+3)	6 (+3)	9 (+3)	12 (+3)	15 (+3)	18 (+3)	(+18)																																																																														
	実績	0	0 (+0)	1 (+1)	3 (+2)	4 (+1)	6 (+2)	- (-)	(+6)																																																																														
③本起業支援事業に基づく起業者数(人)	目標	0	5 (+5)	15 (+10)	25 (+10)	35 (+10)	45 (+10)	55 (+10)	(+55)																																																																														
	実績	0	3 (+3)	10 (+7)	19 (+9)	28 (+9)	38 (+10)	- (-)	(+38)																																																																														
④マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	目標	0	160 (+160)	360 (+200)	560 (+200)	760 (+200)	960 (+200)	1,160 (+200)	(+1,160)																																																																														
	実績	0	257 (+257)	680 (+423)	1,128 (+448)	1,602 (+474)	2,041 (+439)	- (-)	(+2,041)																																																																														
⑤本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数(世帯)	目標	-	- (-)	- (-)	- (-)	20 (+20)	40 (+20)	60 (+20)	(+60)																																																																														
	実績	-	- (-)	- (-)	- (-)	8 (+8)	26 (+18)	- (-)	(+26)																																																																														

現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)

令和5年度の移住就業者数は対前年度から33人増と目標の37人には達しなかったものの、周知が進み令和3年度は19人、令和4年度29人と確実に増加している。マッチングサイトに新たに掲載された求人数も令和2年度から目標の2倍以上の掲載数となる他、令和5年度の起業者数は目標に達しており就業移住者数の増加に寄与しているものと思われる。

一方で、多くの自治体が、移住支援・促進に取り組み、地域間競争が激しさを増している。そのような中で、佐賀県を移住先として認識してもらい、実際に移り住んでもらうためには、引き続き当事業の実施が必要である。

また、庁内の関係部局や市町、既に移住された方々とも連携し、ターゲットエリアや世代を意識しながら、本県の暮らしやすさなどの強みを丁寧な発信も必要である。

さらに、相談会等を通じた移住希望者との接点をつくり、佐賀県が移住先に選ばれるよう移住希望者のニーズに応じてきめ細かな対応を進め、当事業の効果を最大化させていく。

事業目的	地域企業の経営者に対し、新事業や新販路の開拓など、積極的な「攻めの経営」への転換を促し、民間人材マーケットにおいて必要なプロ人材ニーズと求職者をマッチングすることにより、企業の成長戦略の実現を図る。
事業概要	<p>①佐賀県プロフェッショナル人材戦略拠点の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業を訪問し、経営改善の意欲を喚起し、成長戦略を実現するプロフェッショナル人材の活用を促す。 ・プロ人材の活用に消極的な企業に対しては、経営相談等を通じてその潜在的なプロ人材ニーズの掘り起こしを行う。 ・兼業・副業やOB人材の活用等様々な働き方や採用方法について県内企業のニーズを調査し、さらなる人材のマッチングを促す。 ・民間企業や関係機関等と連携し、県内企業のデジタル化の推進 ・金融機関や関係機関等と連携し、セミナーの共催や情報共有等により事業を効果的に進める。 ・外部コンサルタントの人脈や専門性を活かした訪問企業の開拓を行う。 ・外部コンサルタントによる経営改善支援により潜在的なプロ人材ニーズの掘り起こしを行う。 ・本事業の広報・周知。 ・プロフェッショナル人材戦略全国事務局へ事業実績や進捗の報告。 <p>②佐賀県プロフェッショナル人材戦略協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関・人材ビジネス事業者・商工会議所等をメンバーとした協議会を設置し、各機関との情報共有や協力体制を構築する。 <p>③県内企業向けセミナーの企画・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長戦略とプロフェッショナル人材の必要性、採用力の向上等について、セミナーを企画・開催する。 <p>④地域外副業・兼業人材の移動費に係る経費の補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナル人材戦略拠点を通してマッチングした、副業・兼業人材採用企業に対する移動費(旅費、宿泊費)の補助を実施する。
交付対象事業費	R5:34,895千円、R6:38,695千円、R7:38,694千円、R8:38,694千円、R9:38,694千円

<p>KPI</p> <p>上段:実績値</p> <p>下段():増加分</p>	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	累計
	①プロフェッショナル人材のマッチング件数(副業・兼業含む)(件)	目標	20	40 (+20)	60 (+20)	80 (+20)	100 (+20)	120 (+20)	(+100)
		実績	58	111 (+53)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(+53)
	②プロフェッショナル人材拠点における相談件数(件)	目標	150	300 (+150)	450 (+150)	600 (+150)	750 (+150)	900 (+150)	(+750)
		実績	158	325 (+167)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(+167)
	③デジタル化推進にかかるプロフェッショナル人材のマッチング件数(件)	目標	0	3 (+3)	6 (+3)	10 (+4)	14 (+4)	19 (+5)	(+19)
		実績	0	9 (+9)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	(+9)
	④副業・兼業人材の移動費補助金交付件数(件)	目標	1	6 (+5)	11 (+5)	16 (+5)	21 (+5)	26 (+5)	(+15)
		実績	0	0 (+0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (+0)
	現状や課題(阻害要因の把握・分析・対応)	<p>・民間人材ビジネス事業者と連携し、県内中小企業のプロ人材ニーズを掘り起こし、求職者とのマッチング支援を実施。</p> <p>・プロフェッショナル人材戦略拠点事業は、製造業を中心に167社の企業を訪問した。また、セミナーの開催等によりプロ人材の必要性について経営者のマインド醸成に取り組み、各種団体や民間人材ビジネス事業者と連携して53件のマッチング成約を実現。</p> <p>・プロフェッショナル人材戦略拠点事業の実績は、順調に推移しており、引き続き県内中小企業の支援に取り組んでいきたい。</p>							

<p>事業目的</p>	<p>佐賀県の産業を支える多様な人材を確保するため、現在労働に参加していない就業を希望する女性の労働参加を促すと同時に、就業者の健康維持や仕事と生活の調和「ワーク・ライフ・バランス」が実現できる労働環境整備を進めることで女性の就業支援を行う。</p>
<p>事業概要</p>	<p>A. 支援対象者の掘り起こしに関する取組 【佐賀県就活サポート事業】 子育て世代の再就職促進のための情報発信、セミナーの開催</p> <p>B. 職場環境改善支援に関する取組 【次世代働き方改革モデル実践事業】 様々な企業において女性が柔軟に働けるような職場環境とするため、専門家派遣による職場環境改善に向けての取組を実践 【女性の活躍推進佐賀県会議】 女性が働きやすい・働きたいと思えるような、ワーク・ライフ・バランスが確保された魅力ある企業を県内に増やすため、主に企業を対象とした意識啓発事業(セミナー等)を実施</p> <p>C. マッチング支援に関する取組 【佐賀県就活サポート事業】 仕事と子育てが両立しやすい環境が整った企業や子育てを応援している企業を選定し、「子育て世代向け就活フェア」を開催</p> <div data-bbox="1193 788 1458 965" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">次世代働き方改革モデル実践事業における専門家企業コンサルタントの様子</p>
<p>交付対象事業費</p>	<p>R3:23,035千円、R4:25,144千円、R5:25,363千円、R6:26,405千円</p>

<p>KPI 上段:実績値 下段():増加分</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">KPI</th> <th style="width: 10%;">事業開始前</th> <th style="width: 10%;">R3年度</th> <th style="width: 10%;">R4年度</th> <th style="width: 10%;">R5年度</th> <th style="width: 10%;">R6年度</th> <th style="width: 10%;">累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>130 (+130)</td> <td>290 (+160)</td> <td>450 (+160)</td> <td>612 (+162)</td> <td>(+612)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>236 (+236)</td> <td>525 (+289)</td> <td>860 (+335)</td> <td>- (-)</td> <td>(+860)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②女性の活躍推進佐賀県会議の新規会員企業登録数(社)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>10 (+10)</td> <td>20 (+10)</td> <td>30 (+10)</td> <td>41 (+11)</td> <td>(+41)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>98 (+98)</td> <td>165 (+67)</td> <td>185 (+20)</td> <td>- (-)</td> <td>(+185)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)	目標	0	130 (+130)	290 (+160)	450 (+160)	612 (+162)	(+612)	実績	0	236 (+236)	525 (+289)	860 (+335)	- (-)	(+860)	②女性の活躍推進佐賀県会議の新規会員企業登録数(社)	目標	0	10 (+10)	20 (+10)	30 (+10)	41 (+11)	(+41)	実績	0	98 (+98)	165 (+67)	185 (+20)	- (-)	(+185)
	KPI	事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	累計																															
	①本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)	目標	0	130 (+130)	290 (+160)	450 (+160)	612 (+162)	(+612)																														
		実績	0	236 (+236)	525 (+289)	860 (+335)	- (-)	(+860)																														
②女性の活躍推進佐賀県会議の新規会員企業登録数(社)	目標	0	10 (+10)	20 (+10)	30 (+10)	41 (+11)	(+41)																															
	実績	0	98 (+98)	165 (+67)	185 (+20)	- (-)	(+185)																															
<p>現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)</p>	<p>本事業におけるKPIは目標値を大きく上回っており、女性の就業支援に寄与しているものの、本県の有効求人倍率は高倍率で推移しており、あらゆる業種で人材不足となっているのが現状である。引き続き、女性の就業支援、多様な働き方ができる労働環境整備、女性活躍推進に取り組み、多様な人材の確保に努める。</p>																																					

<p>事業目的</p>	<p>大隈侯の100回忌、没後100年・鉄道開業150年を契機とし、大隈侯の功績にあらためて光を当てるとともに、偉業を成し遂げるための高い「志」を伝えることで、大隈侯の功績が文化・歴史的な本物の地域資源であることを県民に認知してもらい、誇り、郷土愛(シビックプライド)の醸成を図る。併せて、高輪築堤の本物の石垣を使って再現展示を行い、新たに魅力的な文化・歴史的な地域資源として活用することで、観光を中心とした交流人口の拡大に繋げていく。</p>																																	
<p>事業概要</p>	<p>1. 広報・プロモーション事業 ・高輪築堤に関する展示や大隈重信との関わりのエピソードについて、ポスター・チラシ等を作成・配布し、情報発信を行う。 2. 県立博物館ガイド役による解説ツアー事業 ・高輪築堤に関する展示について、ガイド役による解説ツアーを行い、より深い理解を促す取組を行う。 3. 県立博物館でのワークショップ事業 ・高輪築堤に関する展示に係るワークショップを行い、より深い理解を促す取組を行う。</p>																																	
<p>交付対象事業費</p>	<p>R3:48,127千円、R4:19,433千円、R5:4,000千円</p>																																	
<p>KPI 上段:実績値 下段():増加分</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①佐賀県立博物館の入館者数(人)</td> <td>目標</td> <td>45,623</td> <td>50,623 (+5,000)</td> <td>55,623 (+5,000)</td> <td>60,623 (+5,000)</td> <td>(+15,000)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>45,623</td> <td>67,445 (+21,822)</td> <td>80,852 (+13,407)</td> <td>95,772 (+14,920)</td> <td>(+50,149)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②「早稲田の聖地さが」事業の新しい取組件数(件)</td> <td>目標</td> <td>1</td> <td>2 (+1)</td> <td>3 (+1)</td> <td>4 (+1)</td> <td>(+3)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>8 (+7)</td> <td>13 (+5)</td> <td>17 (+4)</td> <td>(+16)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	累計	①佐賀県立博物館の入館者数(人)	目標	45,623	50,623 (+5,000)	55,623 (+5,000)	60,623 (+5,000)	(+15,000)	実績	45,623	67,445 (+21,822)	80,852 (+13,407)	95,772 (+14,920)	(+50,149)	②「早稲田の聖地さが」事業の新しい取組件数(件)	目標	1	2 (+1)	3 (+1)	4 (+1)	(+3)	実績	1	8 (+7)	13 (+5)	17 (+4)	(+16)
KPI		事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	累計																												
①佐賀県立博物館の入館者数(人)	目標	45,623	50,623 (+5,000)	55,623 (+5,000)	60,623 (+5,000)	(+15,000)																												
	実績	45,623	67,445 (+21,822)	80,852 (+13,407)	95,772 (+14,920)	(+50,149)																												
②「早稲田の聖地さが」事業の新しい取組件数(件)	目標	1	2 (+1)	3 (+1)	4 (+1)	(+3)																												
	実績	1	8 (+7)	13 (+5)	17 (+4)	(+16)																												

<p>現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)</p>	<p>KPI①②ともに、目標値を上回ることができた。 本事業で整備した高輪築堤に関する展示等を活用し、より深い理解を促す取組を行ってきたところ。今後もさが維新志継承事業で大隈重信を含む佐賀の偉人の顕彰を引き続き継続していく。</p>
---	---

効果検証シート【JAXA連携を活かした文化観光施設の磨き上げに伴う地域活性化・人材育成事業(R5年度)】

1

事業目的	宇宙科学館を地域の核となる文化観光施設として磨き上げ、子どもたちが楽しみながら遊び、学べる場とするとともに、次世代を担う人材育成の拠点として強化することで、将来的には佐賀県を代表する文化観光拠点として地域活性化や、佐賀県を拠点に宇宙・科学分野の第一線で活躍する人材を育成することによる地方創生を目指す。								
事業概要	佐賀県立宇宙科学館宇宙発見ゾーン整備								
交付対象事業費	332,200千円								
KPI	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	累計
	①佐賀県立宇宙科学館の入館者数(人)	目標	202,995	232,995 (+30,000)	267,995 (+35,000)	277,995 (+10,000)	287,995 (+10,000)	292,995 (+5,000)	(+90,000)
		実績	203,440	240,742 (+37,302)	-	-	-	-	(+37,302)
	②幼稚園・保育園、小・中学校等の団体利用件数(件)	目標	470	480 (+10)	530 (+50)	570 (+40)	600 (+30)	620 (+20)	(+150)
実績		470	575 (+105)	-	-	-	-	(+105)	

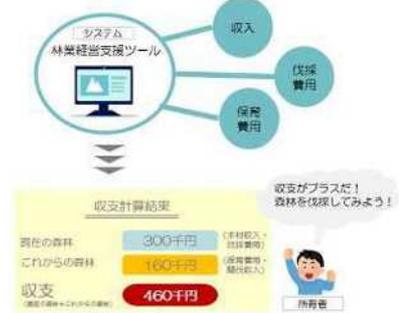
現状や課題 (阻害要因の把握・分析・対応)	<p>令和6年3月23(土)に「宇宙発見ゾーン」がリニューアルオープンオープン。</p> <p>令和6年4月の入館者数は開館以来、過去最多を記録し、5月以降も多くのお客様にご来館にいただいている。特に大型連休や土日の雨天時には、一日の来館者数が3,500人を超えることもあり、リニューアルの効果がすぐに表れていると思われる。</p> <p>現状、大きな課題等はないものの、KPIの達成に向け、県内外での広報活動を強化するとともに、人材育成の拠点となる施設になるべく、新しくなった宇宙発見ゾーンを活用しながら様々なイベント・ワークショップ等の開催を検討していきたい。</p>
--------------------------	--

事業目的	「佐賀牛」のブランド力の維持強化及び農村地域における雇用増など農業を中心とした好循環を目指す。																																											
事業概要	<p>農業大学校に新しいモデル牛舎一式を建設し、大型作業機械やICT機器を活用した省力化と温暖化による夏場の高温事故防止、近年問題となっている家畜伝染病予防に対応した新たな和牛繁殖及び肥育の高度な飼養管理技術を実証し、繁殖農家、肥育農家、関係機関への情報発信とセミナーを通して、繁殖農家の規模拡大や肥育農家の繁殖肥育一貫経営への移行を促すことで所得向上と経営安定化を図る。</p>	<p>佐賀牛の振興を図るうえでの農業大学校(佐賀牛教育施設)の位置づけ</p>																																										
交付対象事業費	272,607千円																																											
KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①肥育素牛の県内自給率(%)</td> <td>目標</td> <td>29.60</td> <td>29.60 (+0.00)</td> <td>30.06 (+0.46)</td> <td>30.52 (+0.46)</td> <td>30.98 (+0.46)</td> <td>31.44 (+0.46)</td> <td>(+1.84)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>29.60</td> <td>29.30 (▲0.30)</td> <td>28.50 (▲0.80)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(▲1.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②繁殖牛1戸当たり飼養頭数(頭)</td> <td>目標</td> <td>22.30</td> <td>22.30 (+0.00)</td> <td>23.50 (+1.20)</td> <td>24.70 (+1.20)</td> <td>25.90 (+1.20)</td> <td>27.10 (+1.20)</td> <td>(+4.80)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>22.30</td> <td>24.60 (+2.30)</td> <td>25.40 (+0.80)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+3.10)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	累計	①肥育素牛の県内自給率(%)	目標	29.60	29.60 (+0.00)	30.06 (+0.46)	30.52 (+0.46)	30.98 (+0.46)	31.44 (+0.46)	(+1.84)	実績	29.60	29.30 (▲0.30)	28.50 (▲0.80)	-	-	-	(▲1.10)	②繁殖牛1戸当たり飼養頭数(頭)	目標	22.30	22.30 (+0.00)	23.50 (+1.20)	24.70 (+1.20)	25.90 (+1.20)	27.10 (+1.20)	(+4.80)	実績	22.30	24.60 (+2.30)	25.40 (+0.80)	-	-	-	(+3.10)	
KPI	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	累計																																					
①肥育素牛の県内自給率(%)	目標	29.60	29.60 (+0.00)	30.06 (+0.46)	30.52 (+0.46)	30.98 (+0.46)	31.44 (+0.46)	(+1.84)																																				
	実績	29.60	29.30 (▲0.30)	28.50 (▲0.80)	-	-	-	(▲1.10)																																				
②繁殖牛1戸当たり飼養頭数(頭)	目標	22.30	22.30 (+0.00)	23.50 (+1.20)	24.70 (+1.20)	25.90 (+1.20)	27.10 (+1.20)	(+4.80)																																				
	実績	22.30	24.60 (+2.30)	25.40 (+0.80)	-	-	-	(+3.10)																																				

事業目的	・県内及び近県からの施設利用者の増加 ・施設の収益向上																																																												
事業概要	<p>本県の豊かな自然を活かし、大空のもと多彩な自然体験などを楽しむスタイル「OPEN-AIR佐賀」環境整備の一環として、北山キャンプ場と21世紀県民の森を、“車で近い”滞在型自然体験のできる県営キャンプ場として整備する。</p>																																																												
交付対象事業費	386,541千円																																																												
KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①北山キャンプ場利用者数(人)</td> <td>目標</td> <td>7,555</td> <td>利用なし(0)</td> <td>13,555 (+6,000)</td> <td>16,555 (+3,000)</td> <td>17,555 (+1,000)</td> <td>18,555 (+1,000)</td> <td>(+11,000)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7,555</td> <td>利用なし(0)</td> <td>8,197 (+642)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>(+642)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②北山キャンプ場利用料収入(百万円)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>利用なし(0)</td> <td>10 (+10)</td> <td>15 (+5)</td> <td>17 (+2)</td> <td>19 (+2)</td> <td>(+19)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>利用なし(0)</td> <td>15 (15)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>(+15)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③21世紀県民の森施設利用料収入(百万円)</td> <td>目標</td> <td>16</td> <td>16 (0)</td> <td>17 (+1)</td> <td>18 (+1)</td> <td>19 (+1)</td> <td>20 (+1)</td> <td>(+4)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>16</td> <td>15 (▲1.0)</td> <td>19 (+4.0)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>- (-)</td> <td>(+3.0)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	累計	①北山キャンプ場利用者数(人)	目標	7,555	利用なし(0)	13,555 (+6,000)	16,555 (+3,000)	17,555 (+1,000)	18,555 (+1,000)	(+11,000)	実績	7,555	利用なし(0)	8,197 (+642)	- (-)	- (-)	- (-)	(+642)	②北山キャンプ場利用料収入(百万円)	目標	0	利用なし(0)	10 (+10)	15 (+5)	17 (+2)	19 (+2)	(+19)	実績	0	利用なし(0)	15 (15)	- (-)	- (-)	- (-)	(+15)	③21世紀県民の森施設利用料収入(百万円)	目標	16	16 (0)	17 (+1)	18 (+1)	19 (+1)	20 (+1)	(+4)	実績	16	15 (▲1.0)	19 (+4.0)	- (-)	- (-)	- (-)	(+3.0)	
KPI	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	累計																																																						
①北山キャンプ場利用者数(人)	目標	7,555	利用なし(0)	13,555 (+6,000)	16,555 (+3,000)	17,555 (+1,000)	18,555 (+1,000)	(+11,000)																																																					
	実績	7,555	利用なし(0)	8,197 (+642)	- (-)	- (-)	- (-)	(+642)																																																					
②北山キャンプ場利用料収入(百万円)	目標	0	利用なし(0)	10 (+10)	15 (+5)	17 (+2)	19 (+2)	(+19)																																																					
	実績	0	利用なし(0)	15 (15)	- (-)	- (-)	- (-)	(+15)																																																					
③21世紀県民の森施設利用料収入(百万円)	目標	16	16 (0)	17 (+1)	18 (+1)	19 (+1)	20 (+1)	(+4)																																																					
	実績	16	15 (▲1.0)	19 (+4.0)	- (-)	- (-)	- (-)	(+3.0)																																																					

事業目的	佐賀市中心市街地の結節点にある「くすかぜ広場」を、周辺を歩き、憩い、集う拠点として再整備し、民間の力で広場を活用することにより、徒歩や自転車、公共交通機関による両エリアの往来を活性化させ、経済の活性化や文化資源の活用、さらには移住定住促進につなげることを目指す。								
事業概要	くすかぜ広場整備（交流施設等、芝生広場、大屋根（日除け）、移動販売車販売スペース）								
交付対象事業費	274,360千円								
KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI		事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	累計
	①交流施設管理者の事業（飲食、物品貸出等）の売上(万円)	目標	0	0 (+0)	3,000 (+3,000)	6,000 (+3,000)	9,000 (+3,000)	12,000 (+3,000)	(+12,000)
		実績	0	0 (+0)	2,053 (+2,053)	3,251 (+1,198)	- (-)	- (-)	(+3,251)
	②くすかぜ広場への来訪者数(人)	目標	0	0 (+0)	98,400 (+98,400)	196,800 (+98,400)	295,200 (+98,400)	393,600 (+98,400)	(+393,600)
		実績	0	0 (+0)	40,795 (+40,795)	86,502 (+45,707)	- (-)	- (-)	(+86,502)

事業目的	イチゴの生産性を飛躍的に向上させる技術を開発し、それを生産現場に効果的かつ効率的に導入していくことにより、地域の基幹産業である農業での所得を向上させ、地域経済を活性化させる。								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上技術を開発するために必要となるI3C分析室と実証ハウスの整備 ・ハウス等から発生するイチゴ等の野菜の残さを堆肥化する処理施設の整備 ・開発された生産性向上技術を普及員やJAの指導員を通じて、あるいは生産者に直接普及させるため、各種研修会やセミナー等を実施する研修施設の整備 								
交付対象事業費	122,142千円								
KPI 上段:実績値 下段():増加分	KPI		事業開始前	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	累計
	①県内イチゴの産出額(億円)	目標	74.3	74.3 (+0.0)	80.7 (+6.4)	87.9 (+7.2)	96.9 (+9.0)	106.8 (+9.9)	(+32.5)
		実績	74.3	82.3 (+8.0)	75.4 (▲6.9)	78.4 (+3.0)	74.1 (▲4.3)	75.8 (+1.7)	(+1.5)
	②イチゴの単位面積当たり収量(kg/a)	目標	410	410 (+0)	450 (+40)	500 (+50)	550 (+50)	600 (+50)	(+190)
		実績	410	440 (+30)	416 (▲24)	459 (+43)	436 (▲23)	447 (+11)	(+37)

<p>事業目的</p>	<p>成長が早く、強度があり、花粉が少ないサガンスギに対する森林所有者等の要望が高まる中、早期にサガンスギ苗木を普及させ、サガンスギの森林を増やし、100年で県内スギ林のすべてをサガンスギにする。サガンスギの森林を増やしていくためには、収穫時期を迎えた森林の伐採を促進する必要がある、林業経営支援システムを開発し、森林所有者などへ伐採意欲を促すための働きかけを行う。</p>																					
<p>事業概要</p>	<p>【林業経営支援サービス】 ・森林所有者が手軽に使える森林の収支を算定 ・森林所有者の伐採意欲の向上 ・サガンスギによる低コスト植林の推進</p> <p>【林業経営支援システム】 ・伐採によって得られる収入の算出 ・伐採に要する経費の算出 ・伐採後の植林に要する経費の算出 ・植林後の下草刈りなどの管理に要する経費の算出</p>	 <p>The diagram illustrates the 'Forest Management Support System' which calculates income and costs. The screenshot shows a calculation result: 'Revenue' (収入) of 300,000 yen (from timber sales and forest management income) and 'Costs' (収支) of 160,000 yen (for forest management and replanting), resulting in a net income of 140,000 yen. A character says 'Revenue is plus! Let's thin the forest!' (収入がプラスだ！森林を伐採してみよう！).</p>																				
<p>交付対象事業費</p>	<p>4,999千円</p>																					
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①林業経営支援システムの利用者数(閲覧数)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>20 (+20)</td> <td>200 (+180)</td> <td>210 (+10)</td> <td>(+210)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>11 (+11)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+11)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	①林業経営支援システムの利用者数(閲覧数)	目標	0	20 (+20)	200 (+180)	210 (+10)	(+210)	実績	0	11 (+11)	-	-	(+11)	
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																
①林業経営支援システムの利用者数(閲覧数)	目標	0	20 (+20)	200 (+180)	210 (+10)	(+210)																
	実績	0	11 (+11)	-	-	(+11)																

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②システムを利用してサガンスギを植林した面積(ha/年)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>3 (+3)</td> <td>24 (+21)</td> <td>27 (+3)</td> <td>(+27)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>3 (+3)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+3)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	②システムを利用してサガンスギを植林した面積(ha/年)	目標	0	3 (+3)	24 (+21)	27 (+3)	(+27)	実績	0	3 (+3)	-	-	(+3)
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計															
②システムを利用してサガンスギを植林した面積(ha/年)	目標	0	3 (+3)	24 (+21)	27 (+3)	(+27)															
	実績	0	3 (+3)	-	-	(+3)															

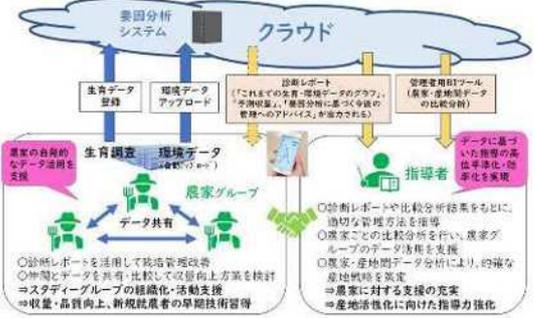
事業目的	行政の力だけでは実現が難しい、複雑・多様化する地域課題・社会課題(ex.災害支援、フードバンク、子どもの貧困、ウクライナ避難民支援、等)にきめ細かに対応するため、県外CSO等の誘致を推進するとともに、行政/CSO/企業等の新たな「つながり」を生み出す環境を整備する。						
事業概要	施設名:まちなかオフィスTOJIN館 住所:佐賀県佐賀市唐人二丁目5番15号 (1)施設整備概要 民間運営施設の整備 まちなかのシェアオフィスの一部を改修し、県内外のNPO法人等の市民社会組織(Civil Society Organizations、以下「CSO」という。[*])や企業等がテレワークできる環境を備えたをワークスペース、共有スペースを整備 [*]市民が主体的に社会貢献活動を行う民間の非営利組織(志縁組織)及び地域住民で構成された地縁組織であって、NPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会、PTA、子ども会といった組織・団体を含む団体をいう。 (2)施設の利用促進のためのプロジェクト推進 全国的にCSOが多く集まるイベントに参加(ブース出展負担金)	 <p style="text-align: center;">外観</p>					
交付対象事業費	2,600千円						
KPI	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計
	①サテライトオフィス等施設を利用する企業数(社・団体)	目標	0	-	-	12 (+12)	(+12)
		実績	0	9 (+9)	-	-	(+9)
	②サテライトオフィス等施設を利用する企業における、所在都道府県外の企業数(社・団体)	目標	0	-	-	3 (+3)	(+3)
		実績	0	2 (+2)	-	-	(+2)

KPI	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計
	③サテライトオフィス等施設の利用者数(人)	目標	0	-	-	2400 (+2400)	(+2400)
		実績	0	2310 (+2310)	-	-	(+2310)
	④サテライトオフィス等施設の利用者における、所在都道府県外の利用者数の割合(%)	目標	0	-	-	30 (+30)	(+30)
		実績	0	22 (+22)	-	-	(+22)
	⑤移住者数(人)	目標	0	-	-	770 (+770)	(+770)
実績		0	440 (+440)	-	-	(+440)	

※地方創生テレワーク型は最終年度のみKPI設定

<p>事業目的</p>	<p>国立スポーツ科学センター（JISS）及びその連携施設と同等のクオリティを持ったフィットネスチェック体制及び個別競技科学的サポート体制を構築することで、佐賀県にいながら国内のトップアスリートとデータ比較することができるようになり、効率よくアスリート、特にジュニア世代の身体能力の底上げにつながる。</p>																									
<p>事業概要</p>	<p>【フィットネスチェック体制の構築】 ・身体組成 ・筋力・筋パワー ・運動能力 ・エネルギー産生能力 以上の項目を測定し、国内トップアスリートのデータと比較することで、身体能力の底上げを図る</p> <p>【競技別科学的サポート体制構築】 運動の基礎である走・投・跳を科学的に分析し、トレーニングに生かすことで、競技力向上を図るため以下の項目を測定 ・接地時間及びストライド、ピッチ測定 ・疾走速度の測定 ・疾走フォームの測定 ・最大酸素摂取量の測定 ・無酸素持久力の測定</p>																									
<p>交付対象事業費</p>	<p>38,110千円</p>																									
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①フィットネスチェックを行った参加者数(人/年)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>500 (+500)</td> <td>600 (+100)</td> <td>700 (+100)</td> <td>(+700)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>196 (+196)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+196)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	①フィットネスチェックを行った参加者数(人/年)	目標	0	500 (+500)	600 (+100)	700 (+100)	(+700)	実績	0	196 (+196)	-	-	(+196)
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																				
①フィットネスチェックを行った参加者数(人/年)	目標	0	500 (+500)	600 (+100)	700 (+100)	(+700)																				
	実績	0	196 (+196)	-	-	(+196)																				

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②競技別科学的サポートを受けた選手数(人/年)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>500 (+500)</td> <td>600 (+100)</td> <td>700 (+100)</td> <td>(+700)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>198 (+198)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+198)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③トレーニング/運動の変化項目数(項目)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>1 (+1)</td> <td>2 (+1)</td> <td>3 (+1)</td> <td>(+3)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>未計測</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>未計測</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④フィットネスチェック測定アスリートの満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>60 (+60)</td> <td>70 (+10)</td> <td>80 (+10)</td> <td>(+80)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>87 (+87)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+87)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤競技別科学的サポートを受けたアスリートの満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>60 (+60)</td> <td>70 (+10)</td> <td>80 (+10)</td> <td>(+80)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>87 (+87)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+87)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	②競技別科学的サポートを受けた選手数(人/年)	目標	0	500 (+500)	600 (+100)	700 (+100)	(+700)	実績	0	198 (+198)	-	-	(+198)	③トレーニング/運動の変化項目数(項目)	目標	0	1 (+1)	2 (+1)	3 (+1)	(+3)	実績	0	未計測	-	-	未計測	④フィットネスチェック測定アスリートの満足度(%)	目標	0	60 (+60)	70 (+10)	80 (+10)	(+80)	実績	0	87 (+87)	-	-	(+87)	⑤競技別科学的サポートを受けたアスリートの満足度(%)	目標	0	60 (+60)	70 (+10)	80 (+10)	(+80)	実績	0	87 (+87)	-	-	(+87)
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																																																											
②競技別科学的サポートを受けた選手数(人/年)	目標	0	500 (+500)	600 (+100)	700 (+100)	(+700)																																																											
	実績	0	198 (+198)	-	-	(+198)																																																											
③トレーニング/運動の変化項目数(項目)	目標	0	1 (+1)	2 (+1)	3 (+1)	(+3)																																																											
	実績	0	未計測	-	-	未計測																																																											
④フィットネスチェック測定アスリートの満足度(%)	目標	0	60 (+60)	70 (+10)	80 (+10)	(+80)																																																											
	実績	0	87 (+87)	-	-	(+87)																																																											
⑤競技別科学的サポートを受けたアスリートの満足度(%)	目標	0	60 (+60)	70 (+10)	80 (+10)	(+80)																																																											
	実績	0	87 (+87)	-	-	(+87)																																																											

<p>事業目的</p>	<p>佐賀県では、施設園芸(主にキュウリ)において、温度や湿度、日射量などの環境データを計測し、生産に活かされているが、その活用範囲は施設ごと、農家ごとなど限定的である。本事業において、これらの環境データをクラウド上に集約して地域全体で共有するとともに、集約された環境データの分析結果に基づく栽培管理や営農指導を支援するクラウド型営農支援システムを完成させる。また、このシステムを県内の施設園芸農家及び指導機関に実装するとともに、環境データの分析結果を活用して営農指導を行う人材育成や指導体制の整備を合わせて行うことで、施設園芸の生産性・収益性を向上させる。</p>																									
<p>事業概要</p>	<p>【クラウド型営農支援システム】 ・農家圃場に設置されているICT機器が経時的に取得する環境データや生育データをクラウド上に集約し、農家間で共有できるプラットフォームを提供 ・システム内のBIツールにより、複数の圃場で収集した環境データの比較分析や、作業記録の一元管理が可能</p>																									
<p>交付対象事業費</p>	<p>10,165千円</p>																									
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①クラウド型営農支援システムの利用者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>30 (+30)</td> <td>70 (+40)</td> <td>150 (+80)</td> <td>(+150)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>38 (+38)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+38)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	①クラウド型営農支援システムの利用者数(人)	目標	0	30 (+30)	70 (+40)	150 (+80)	(+150)	実績	0	38 (+38)	-	-	(+38)					
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																				
①クラウド型営農支援システムの利用者数(人)	目標	0	30 (+30)	70 (+40)	150 (+80)	(+150)																				
	実績	0	38 (+38)	-	-	(+38)																				

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②指導者育成研修の受講者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>17 (+17)</td> <td>34 (+17)</td> <td>51 (+17)</td> <td>(+51)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>22 (+22)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+22)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③施設園芸(キュウリ)農家1戸当たりの生産量(t/戸)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>48.3 (+48.3)</td> <td>50.0 (+1.7)</td> <td>53.0 (+3.0)</td> <td>(53.0)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>46 (+46)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+46)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④クラウド型営農支援システムの利用満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>50 (+50)</td> <td>60 (+10)</td> <td>80 (+20)</td> <td>(+80)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>64 (+64)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(+64)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	②指導者育成研修の受講者数(人)	目標	0	17 (+17)	34 (+17)	51 (+17)	(+51)	実績	0	22 (+22)	-	-	(+22)	③施設園芸(キュウリ)農家1戸当たりの生産量(t/戸)	目標	0	48.3 (+48.3)	50.0 (+1.7)	53.0 (+3.0)	(53.0)	実績	0	46 (+46)	-	-	(+46)	④クラウド型営農支援システムの利用満足度(%)	目標	0	50 (+50)	60 (+10)	80 (+20)	(+80)	実績	0	64 (+64)	-	-	(+64)					
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																																														
②指導者育成研修の受講者数(人)	目標	0	17 (+17)	34 (+17)	51 (+17)	(+51)																																														
	実績	0	22 (+22)	-	-	(+22)																																														
③施設園芸(キュウリ)農家1戸当たりの生産量(t/戸)	目標	0	48.3 (+48.3)	50.0 (+1.7)	53.0 (+3.0)	(53.0)																																														
	実績	0	46 (+46)	-	-	(+46)																																														
④クラウド型営農支援システムの利用満足度(%)	目標	0	50 (+50)	60 (+10)	80 (+20)	(+80)																																														
	実績	0	64 (+64)	-	-	(+64)																																														

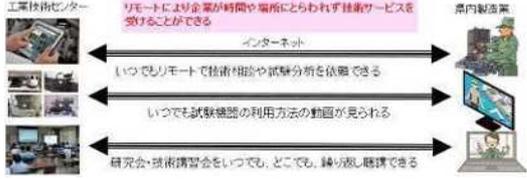
<p>事業目的</p>	<p>佐賀県では、2024年のSAGA2024（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）開催に向け、県民がスポーツを楽しむ環境づくりを進めている。特に、県民がスポーツを「観る」文化を醸成するため、身近な学生スポーツ等多くのスポーツシーンのオンライン配信の実現を目指している。</p> <p>本事業では、ICT技術を活用した効率的なスポーツオンライン配信の仕組み構築を実施し、県内の多くのスポーツを「観る」環境づくりを推進する。また、本事業を県民参加型とすることで、今までに無い視点から県民がスポーツに興味を持つ新たなきっかけ作りを行い、佐賀県のスポーツ文化の裾野拡大を図る。</p>																									
<p>事業概要</p>	<p>【動画配信サポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影・配信機材の貸出 県内スポーツ大会の主催者等がスポーツオンライン配信を気軽に実施できるよう撮影・配信機材の貸出を実施 研修会・練習会実施 県民向けスポーツオンライン配信研修会や実際のスポーツシーンでの練習会等を実施 																									
<p>交付対象事業費</p>	<p>17,412千円</p>																									
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①研修会・練習会参加者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>60 (+60)</td> <td>90 (+30)</td> <td>100 (+10)</td> <td>(+100)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>228 (+228)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(+228)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	①研修会・練習会参加者数(人)	目標	0	60 (+60)	90 (+30)	100 (+10)	(+100)	実績	0	228 (+228)	—	—	(+228)					
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																				
①研修会・練習会参加者数(人)	目標	0	60 (+60)	90 (+30)	100 (+10)	(+100)																				
	実績	0	228 (+228)	—	—	(+228)																				

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②スポーツ動画配信数(配信)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>50 (+50)</td> <td>100 (+50)</td> <td>100 (+0)</td> <td>(+100)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>81 (+81)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(+81)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③配信動画視聴者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>250,000 (+250,000)</td> <td>300,000 (+50,000)</td> <td>400,000 (+100,000)</td> <td>(+400,000)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>610,200 (+610,000)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(+610,000)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④研修会・練習会参加者及び機材貸出利用者の満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>80 (+80)</td> <td>90 (+10)</td> <td>100 (+10)</td> <td>(+100)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>100 (+100)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(+100)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	②スポーツ動画配信数(配信)	目標	0	50 (+50)	100 (+50)	100 (+0)	(+100)	実績	0	81 (+81)	—	—	(+81)	③配信動画視聴者数(人)	目標	0	250,000 (+250,000)	300,000 (+50,000)	400,000 (+100,000)	(+400,000)	実績	0	610,200 (+610,000)	—	—	(+610,000)	④研修会・練習会参加者及び機材貸出利用者の満足度(%)	目標	0	80 (+80)	90 (+10)	100 (+10)	(+100)	実績	0	100 (+100)	—	—	(+100)
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																																														
②スポーツ動画配信数(配信)	目標	0	50 (+50)	100 (+50)	100 (+0)	(+100)																																														
	実績	0	81 (+81)	—	—	(+81)																																														
③配信動画視聴者数(人)	目標	0	250,000 (+250,000)	300,000 (+50,000)	400,000 (+100,000)	(+400,000)																																														
	実績	0	610,200 (+610,000)	—	—	(+610,000)																																														
④研修会・練習会参加者及び機材貸出利用者の満足度(%)	目標	0	80 (+80)	90 (+10)	100 (+10)	(+100)																																														
	実績	0	100 (+100)	—	—	(+100)																																														

<p>事業目的</p>	<p>LoGoフォーム(※)について、マイページ機能と自動連絡機能、オンライン決済機能を拡充し、行政手続のオンライン化を更に進め、より便利に、いつでもどこでも行政手続を完結できる環境を整備する。 ※簡単なマニュアルでどの職員でもwebフォームを作成できるサービス</p>																									
<p>事業概要</p>	<p>【LoGoフォームの機能拡充】 ・R4年度から導入 ・イベント参加申し込みやアンケート収集等の事務効率化を中心に活用 ・補助金等の行政手続の活用件数は少ない</p> <p>・今年度、担当課に行政手続オンライン化の紹介をしたところ、担当課からは、次のように機能拡充を望む声 ✓申請不備を連絡する機能 ✓以前の回答の入力を省略する機能 ✓決定通知書を送付する機能 ・このような機能を拡充することで、より多くの行政手続のオンライン化を実現する</p>																									
<p>交付対象事業費</p>	<p>1,191千円</p>																									
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①デジタル窓口に対応したオンライン手続数(手続数)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>5 (+5)</td> <td>10 (+5)</td> <td>15 (+5)</td> <td>(+15)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>7 (+7)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(+7)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計	①デジタル窓口に対応したオンライン手続数(手続数)	目標	0	5 (+5)	10 (+5)	15 (+5)	(+15)	実績	0	7 (+7)	—	—	(+7)
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計																				
①デジタル窓口に対応したオンライン手続数(手続数)	目標	0	5 (+5)	10 (+5)	15 (+5)	(+15)																				
	実績	0	7 (+7)	—	—	(+7)																				

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>の累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②デジタル窓口を利用したオンライン申請に関する満足度(5段階評価の平均)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>3.0 (+3.0)</td> <td>3.5 (+0.5)</td> <td>4.0 (+0.5)</td> <td>(+4.0)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>3.81 (+3.81)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(+3.81)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	の累計	②デジタル窓口を利用したオンライン申請に関する満足度(5段階評価の平均)	目標	0	3.0 (+3.0)	3.5 (+0.5)	4.0 (+0.5)	(+4.0)	実績	0	3.81 (+3.81)	—	—	(+3.81)
KPI		事業開始前	R5年度	R6年度	R7年度	の累計																				
②デジタル窓口を利用したオンライン申請に関する満足度(5段階評価の平均)	目標	0	3.0 (+3.0)	3.5 (+0.5)	4.0 (+0.5)	(+4.0)																				
	実績	0	3.81 (+3.81)	—	—	(+3.81)																				

事業目的	センターのDXを推進することにより、センターへの来所に加え、「リモートによる相談対応、試験分析等」を実現し、県内の製造業の誰一人取り残さないデジタル原則による技術サービスを展開し、利用企業の効率性や利便性の向上を目指す																									
事業概要	<p>工業技術センターは佐賀市に位置し、半径約60kmに及ぶ佐賀県全域の製造業に対して、技術サービス事業を展開している佐賀県立の工業系試験研究機関である。県内の製造業の将来を見据えて新しい技術の開発を目指す研究に積極的に取り組むとともに、製品の不良や不具合問題、品質管理、生産技術の維持など、製造業の現場で日常的に発生する技術課題の解決のために、技術相談や試験分析等の技術支援に取り組んでいる。また、技術研究会や技術講習会、高度な試験分析機器の見学会・操作説明会等を実施して、技術者の育成や技術力向上を図っている。</p> <p>これらの技術サービス事業は、これまでは、県内製造業からの来所を前提として実施してきたものであるが、今後は、都市部に負けない地方都市の実現に向けて、工業技術センターのDXを推進して、デジタル原則を遵守し、県内製造業の技術者が来所することなく、リモートから、誰もがいつでも、どこからでも技術サービスを受けられる体制を構築する。</p> <p>具体的には、工業技術センター内に高速ネットワーク回線や動画配信システム及び監視カメラ等を整備し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートで技術相談や試験分析を依頼、実施できる ・リモートで高度な試験機器の利用方法を事前に学習でき、企業の製品開発に機器を活用できる ・リモートで研究会、技術講習会等をいつでも、どこでも、繰り返し聴講できる体制を構築する。 																									
交付対象事業費	13,117千円																									
KPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①リモートによる技術相談・試験分析の件数(件)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>60 (+60)</td> <td>120 (+60)</td> <td>180 (+60)</td> <td>(+180)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>16 (+16)</td> <td>39 (+23)</td> <td>—</td> <td>(+39)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①リモートによる技術相談・試験分析の件数(件)	目標	0	60 (+60)	120 (+60)	180 (+60)	(+180)	実績	0	16 (+16)	39 (+23)	—	(+39)					
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																				
①リモートによる技術相談・試験分析の件数(件)	目標	0	60 (+60)	120 (+60)	180 (+60)	(+180)																				
	実績	0	16 (+16)	39 (+23)	—	(+39)																				



KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
②オンラインによる試験機器の利用動画の閲覧件数(件)	目標	0	30 (+30)	60 (+30)	90 (+30)	(+90)
	実績	0	10 (+10)	1,425 (+1,415)	—	(+1,425)
③来所に要する移動時間の削減効果(時間)	目標	0	60 (+60)	120 (+60)	180 (+60)	(+180)
	実績	0	57 (+57)	96 (+39)	—	(+96)
④機器利用方法の説明を受ける時間の短縮効果(時間)	目標	0	60 (+60)	120 (+60)	180 (+60)	(+180)
	実績	0	20 (+20)	2,850 (+2,830)	—	(+2,850)
⑤工業技術センターの技術サービスに対する満足度(%)	目標	0	50 (+50)	60 (+10)	70 (+10)	(+70)
	実績	0	0 (+0)	73 (+73)	—	(+73)

<p>事業目的</p>	<p>来所前提の相談・機器操作指導をオンラインで実現し、企業の利便性を高めDXを支援する</p>	
<p>事業概要</p>	<p>佐賀県窯業技術センターは、地域に開かれた技術拠点として、県内窯業界の発展と振興のため、研究開発、技術支援、事業化支援、人材育成等に取り組んでいる研究機関である。本事業では、窯業技術センターが業務として実施している各種技術支援メニュー（技術相談、技術指導、試験機器利用、セミナー、講習会等）へのデジタル実装を行い、地域企業の商品開発や人材育成の効率化、スピードアップに寄与する。</p> <p><実装の内容> [試験機器の利用] ・試験機器操作法の研修、個別指導等のオンライン実施 ・オンライン立会い型依頼試験、試験状況のモニタリングサービスの実施。 ・オンラインでの依頼試験結果報告 ⇒Web会議システム、動画配信サービス等を活用 [講習会・セミナー等] ・講習会、セミナーのオンライン実施、アーカイブ配信。 ⇒Web会議システム、動画配信サービス等を活用 [技術相談・技術指導] ・オンラインによる技術相談、技術指導の実施、企業PCへの遠隔操作による製品設計指導。 ⇒Web会議システム、リモート操作ソフトウェアを活用</p>	
<p>交付対象事業費</p>	<p>5,416千円</p>	

KPI	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	①オンラインを活用した試験機器の利用数(件)	目標	0	10 (+10)	40 (+30)	100 (+60)	(+100)
		実績	0	11 (+11)	21 (+10)	—	(+21)
	②セミナー、研修会等のオンラインでの受講者数(人)	目標	0	30 (+30)	150 (+120)	350 (+200)	(+350)
実績		0	48 (+48)	162 (+114)	—	(+162)	

KPI	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	③オンラインでの技術相談、指導件数(件)	目標	0	10 (+10)	80 (+70)	180 (+100)	(+180)
		実績	0	15 (+15)	23 (+8)	—	(+23)
	④窯業技術センターの支援サービスに対する満足度(%)	目標	0	50 (+50)	60 (+10)	80 (+20)	(+80)
実績		0	100 (+100)	92 (▲8)	—	(+92)	

<p>事業目的</p>	<p>佐賀県の土木部局において、汎用性に優れ、遠隔操作が可能なドローン機器、及びドローンの操縦者（※国土交通省の許可承認による飛行可能）を実装することで、課題の解決、将来像の実現を目指す。</p>					
<p>事業概要</p>	<p>佐賀県では近年、4年連続の大雨特別警報や低平地における大規模な浸水被害等、災害が頻発化・激甚化しており、また、平時におけるインフラメンテナンス需要も増加している。 これにより、土木職員、関係事業者の業務は多様化・複雑化し、災害被災状況の情報発信や道路の復旧対応に影響を与えている。 こうしたことから、本事業では、佐賀県の土木部局（本庁、土木事務所等）において、汎用性に優れ、遠隔操作が可能なドローン機器、及びドローンの操縦者（※国土交通省の許可承認による飛行可能）を実装し、土木職員、関係事業者の業務の効率化・迅速化を図り、以下のような県民サービスの向上に寄与することを目的とする。</p> <p>【期待される県民サービスの向上】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 災害被災状況の迅速な発信 ② 災害による通行止め道路の早期復旧 ③ 円滑な工事進捗・供用開始 ④ わかりやすい鳥瞰映像・写真による情報発信等 					
<p>交付対象事業費</p>	<p>7,649千円</p>					
<p>KPI</p>	<p>KPI</p>	<p>事業開始前</p>	<p>R4年度</p>	<p>R5年度</p>	<p>R6年度</p>	<p>累計</p>
<p>①国土交通省許可を受けられるドローン操縦者数(人)</p>	<p>目標</p>	<p>0</p>	<p>38 (+38)</p>	<p>76 (+38)</p>	<p>114 (+38)</p>	<p>(+114)</p>
	<p>実績</p>	<p>0</p>	<p>111 (+111)</p>	<p>150 (+39)</p>	<p>—</p>	<p>(+150)</p>
	<p>目標</p>	<p>0</p>	<p>▲5 (▲5)</p>	<p>▲50 (▲45)</p>	<p>▲100 (▲50)</p>	<p>(▲100)</p>
	<p>実績</p>	<p>0</p>	<p>▲5 (▲5)</p>	<p>▲186 (▲181)</p>	<p>—</p>	<p>(▲186)</p>

<p>KPI</p>	<p>KPI</p>	<p>事業開始前</p>	<p>R4年度</p>	<p>R5年度</p>	<p>R6年度</p>	<p>累計</p>
<p>③県民ヘドローンを活用した効果的な情報提供数(件)</p>	<p>目標</p>	<p>0</p>	<p>5 (+5)</p>	<p>25 (+20)</p>	<p>50 (+25)</p>	<p>(+50)</p>
	<p>実績</p>	<p>0</p>	<p>5 (+5)</p>	<p>25 (+20)</p>	<p>—</p>	<p>(+25)</p>

<p>事業目的</p>	<p>県内施設にAIカメラやデジタル技術を活用したトレーニング機器等を導入することで、より科学的根拠に根差した県内の育成環境を整えることができ、これが普及し、定着することで、より最新の知見を活かした育成体制を構築できることになり、SSP構想の短期目標と中期目標の実現につなげる。</p>																																						
<p>事業概要</p>	<p>佐賀県の総合スポーツ施設であるSAGAサンライズパークにAIカメラを活用した分析機器を導入するとともに、デジタル技術を活用したトレーニング機器等を県内高校・競技団体が導入する際に支援することで、デジタル技術を活用した選手・指導者双方の人材育成に取り組む。</p> <p>①AI活用等育成設備整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SAGAサンライズパークにAIカメラの導入 ・SAGAサンライズパークにAIによる適正スポーツ判定システム(digsports)の導入(2台) ・アスリート寮への高精度体成分分析装置(InBody)の導入(1基) <p>②AI活用等育成設備整備事業費補助</p> <p>競技団体や県立・私立学校が行うデジタル機能が搭載されたトレーニング機器等の導入に対して、県が購入費を県が支援(補助)することで、県立学校・私立学校、競技団体にデジタル機能搭載のトレーニング機器の整備を促進する。</p>	 <p>○導入後運用イメージ</p> <p>SAGAサンライズパーク</p> <p>アスリート寮</p> <p>高校・競技団体</p> <p>スポーツの普及・裾野拡大、指導力・競技力向上</p>																																					
<p>交付対象事業費</p>	<p>52,948千円</p>																																						
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①SAGAサンライズパークAIカメラ活用回数(回)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>27(+27)</td> <td>135(+108)</td> <td>180(+45)</td> <td>(+180)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0(0)</td> <td>18(+18)</td> <td>-</td> <td>(+18)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②digsportsでのスポーツテスト実施者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>288(+288)</td> <td>1152(+864)</td> <td>1152(0)</td> <td>(+1152)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>-</td> <td>(0)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①SAGAサンライズパークAIカメラ活用回数(回)	目標	0	27(+27)	135(+108)	180(+45)	(+180)	実績	0	0(0)	18(+18)	-	(+18)	②digsportsでのスポーツテスト実施者数(人)	目標	0	288(+288)	1152(+864)	1152(0)	(+1152)	実績	0	0(0)	0(0)	-	(0)					
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																	
①SAGAサンライズパークAIカメラ活用回数(回)	目標	0	27(+27)	135(+108)	180(+45)	(+180)																																	
	実績	0	0(0)	18(+18)	-	(+18)																																	
②digsportsでのスポーツテスト実施者数(人)	目標	0	288(+288)	1152(+864)	1152(0)	(+1152)																																	
	実績	0	0(0)	0(0)	-	(0)																																	

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">③全国制覇(※)する中高生選手、チーム数 ※高校総体、各競技における全国大会(例:高校野球における春のセンバツ、夏の甲子園)での優勝を指す。(人・チーム)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>15(+15)</td> <td>20(+5)</td> <td>25(+5)</td> <td>(+25)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>26(+26)</td> <td>35(+9)</td> <td>-</td> <td>(+35)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	③全国制覇(※)する中高生選手、チーム数 ※高校総体、各競技における全国大会(例:高校野球における春のセンバツ、夏の甲子園)での優勝を指す。(人・チーム)	目標	0	15(+15)	20(+5)	25(+5)	(+25)	実績	0	26(+26)	35(+9)	-	(+35)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計															
③全国制覇(※)する中高生選手、チーム数 ※高校総体、各競技における全国大会(例:高校野球における春のセンバツ、夏の甲子園)での優勝を指す。(人・チーム)	目標	0	15(+15)	20(+5)	25(+5)	(+25)															
	実績	0	26(+26)	35(+9)	-	(+35)															

<p>事業目的</p>	<p>本事業を通じて、子どもたちがものづくりや県内ものづくり企業の魅力を広く認知し、県内ものづくり企業への就職率が向上すること等により、佐賀県経済の生命線とも言える「ものづくり企業」が持続的に成長し、これまで以上に佐賀県経済をけん引する、そして、ものづくり産業に携わる人材がさらに誇りと自信を持つことができる社会を実現したい。</p>																									
<p>事業概要</p>	<p>佐賀県経済を支えるものづくり企業の最重要課題である人手不足の解消を図るため、デジタル技術を活用して、小中学生という早い段階から高校生までの各段階に応じた以下の3事業を実施することで、子どもたちのものづくりに対する興味・関心や魅力度を高め、ものづくりを志す子どもたちを増加させる。</p> <p>①バーチャル工場見学ツアー 感染症対策、安全性、衛生管理、情報管理等の観点から見学ができない県内ものづくり企業の工場内部を撮影し、バーチャルで工場見学ができる小中学生向けのコンテンツを制作して、ウェブ上で公開する。</p> <p>②バーチャル溶接体験 VR溶接シミュレーターを導入し、県内中学校を訪問して溶接体験教室を開催するほか、イベント出展等を通じて、幅広い子どもたちに溶接技術を体験してもらおう。また、溶接技術の向上のため、高校や公設試験研究機関、職業訓練施設、県内ものづくり企業等への貸出も行う。</p> <p>③MONOSUGOBITO (モノスゴビト) 制作 近い将来、佐賀県のものづくり産業界を担う中高生をターゲットとして、ものづくりに携わる「人」(MONOSUGOBITO)にフォーカスし、ものづくりのカッコよさや美しさ、楽しさ、やりがい等を伝える動画を制作して、ウェブ公開等を行う。</p>																									
<p>交付対象事業費</p>	<p>23,862千円</p>																									
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①バーチャル工場見学ツアーの参加者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>1,250 (+1,250)</td> <td>12,500 (+11,250)</td> <td>23,750 (+11,250)</td> <td>(+23,750)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>94 (+94)</td> <td>8,435 (+8,341)</td> <td>—</td> <td>(+8,435)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①バーチャル工場見学ツアーの参加者数(人)	目標	0	1,250 (+1,250)	12,500 (+11,250)	23,750 (+11,250)	(+23,750)	実績	0	94 (+94)	8,435 (+8,341)	—	(+8,435)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																				
①バーチャル工場見学ツアーの参加者数(人)	目標	0	1,250 (+1,250)	12,500 (+11,250)	23,750 (+11,250)	(+23,750)																				
	実績	0	94 (+94)	8,435 (+8,341)	—	(+8,435)																				



<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">②VR溶接シミュレーターの体験者数(人)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>900 (+900)</td> <td>2,040 (+1,140)</td> <td>3,180 (1,140)</td> <td>(3,180)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>401 (+401)</td> <td>1,015 (+614)</td> <td>—</td> <td>(1,015)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③MONOSUGOBITO (動画)の視聴回数(回)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>400 (400)</td> <td>9,200 (+8,800)</td> <td>18,000 (+8,800)</td> <td>(+18,000)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>517,209 (+517,209)</td> <td>733,755 (+216,546)</td> <td>—</td> <td>(+733,755)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④人材確保を課題とする県内ものづくり企業の割合(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>69 (+69)</td> <td>64 (▲5)</td> <td>59 (▲5)</td> <td>(+59)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>54 (+54)</td> <td>62 (+8)</td> <td>—</td> <td>(+62)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤県内工業系高校生の県内就職率(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>53 (+53)</td> <td>55 (+2)</td> <td>57 (+2)</td> <td>(+57)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>55.1 (+55.1)</td> <td>55.4 (+0.3)</td> <td>—</td> <td>(+55.4)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	②VR溶接シミュレーターの体験者数(人)	目標	0	900 (+900)	2,040 (+1,140)	3,180 (1,140)	(3,180)	実績	0	401 (+401)	1,015 (+614)	—	(1,015)	③MONOSUGOBITO (動画)の視聴回数(回)	目標	0	400 (400)	9,200 (+8,800)	18,000 (+8,800)	(+18,000)	実績	0	517,209 (+517,209)	733,755 (+216,546)	—	(+733,755)	④人材確保を課題とする県内ものづくり企業の割合(%)	目標	0	69 (+69)	64 (▲5)	59 (▲5)	(+59)	実績	0	54 (+54)	62 (+8)	—	(+62)	⑤県内工業系高校生の県内就職率(%)	目標	0	53 (+53)	55 (+2)	57 (+2)	(+57)	実績	0	55.1 (+55.1)	55.4 (+0.3)	—	(+55.4)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																																											
②VR溶接シミュレーターの体験者数(人)	目標	0	900 (+900)	2,040 (+1,140)	3,180 (1,140)	(3,180)																																																											
	実績	0	401 (+401)	1,015 (+614)	—	(1,015)																																																											
③MONOSUGOBITO (動画)の視聴回数(回)	目標	0	400 (400)	9,200 (+8,800)	18,000 (+8,800)	(+18,000)																																																											
	実績	0	517,209 (+517,209)	733,755 (+216,546)	—	(+733,755)																																																											
④人材確保を課題とする県内ものづくり企業の割合(%)	目標	0	69 (+69)	64 (▲5)	59 (▲5)	(+59)																																																											
	実績	0	54 (+54)	62 (+8)	—	(+62)																																																											
⑤県内工業系高校生の県内就職率(%)	目標	0	53 (+53)	55 (+2)	57 (+2)	(+57)																																																											
	実績	0	55.1 (+55.1)	55.4 (+0.3)	—	(+55.4)																																																											

<p>事業目的</p>	<p>佐賀県にとっての空と陸の玄関口における県産品情報発信拠点である「sagair(サガエア)」及び「SAGAMADO(サガマド)」において、デジタル技術を活用して県産品のテストマーケティング機能を強化することにより、県産品の販売促進を図る。</p>																																						
<p>事業概要</p>	<p>県産品情報発信拠点「sagair」及び「SAGAMADO」にAIカメラ連動レジ等のデジタル技術を実装することによりテストマーケティング機能を強化し、県産品の各事業者へフィードバックすることで県産品の販売促進につなげる。 【sagair, SAGAMADOでの取組内容】 ・データ連携可能なAIカメラ、レジ及びデータ連携システムの導入 (⇒顧客属性と購買行動の関係を商品毎に分析できるようにする) ・デジタルサイネージの導入 (⇒データ分析に基づき、ターゲット客にあった商品情報を発信できるようにする) ・専門家によるデータ評価、商品改善・販売戦略等の助言 (⇒個々の県内事業者へフィードバック ※県内事業者が活用しやすい内容でフィードバック)</p>	 <p>テストマーケティング機能を強化 専門家のアドバイス フィードバック事業 商品改善、販路開拓等 県内事業者</p>																																					
<p>交付対象事業費</p>	<p>16,500千円</p>																																						
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①県内事業者へのフィードバック件数(件)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>50 (+50)</td> <td>100 (+50)</td> <td>100 (0)</td> <td>(+100)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>54 (+54)</td> <td>125 (+71)</td> <td>—</td> <td>(+125)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②商品のブラッシュアップ事業への応募事業者数(事業者)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>10 (+10)</td> <td>15 (+5)</td> <td>20 (+5)</td> <td>(+20)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>10 (+10)</td> <td>30 (+20)</td> <td>—</td> <td>(+30)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①県内事業者へのフィードバック件数(件)	目標	0	50 (+50)	100 (+50)	100 (0)	(+100)	実績	0	54 (+54)	125 (+71)	—	(+125)	②商品のブラッシュアップ事業への応募事業者数(事業者)	目標	0	10 (+10)	15 (+5)	20 (+5)	(+20)	実績	0	10 (+10)	30 (+20)	—	(+30)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																	
①県内事業者へのフィードバック件数(件)	目標	0	50 (+50)	100 (+50)	100 (0)	(+100)																																	
	実績	0	54 (+54)	125 (+71)	—	(+125)																																	
②商品のブラッシュアップ事業への応募事業者数(事業者)	目標	0	10 (+10)	15 (+5)	20 (+5)	(+20)																																	
	実績	0	10 (+10)	30 (+20)	—	(+30)																																	

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">③商品開発・改善、新たな販路開拓に至った商品数(品目)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>0 (0)</td> <td>5 (+5)</td> <td>5 (0)</td> <td>(+5)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0 (0)</td> <td>16 (+16)</td> <td>—</td> <td>(+16)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	③商品開発・改善、新たな販路開拓に至った商品数(品目)	目標	0	0 (0)	5 (+5)	5 (0)	(+5)	実績	0	0 (0)	16 (+16)	—	(+16)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																				
③商品開発・改善、新たな販路開拓に至った商品数(品目)	目標	0	0 (0)	5 (+5)	5 (0)	(+5)																				
	実績	0	0 (0)	16 (+16)	—	(+16)																				

<p>事業目的</p>	<p>県職員に特別の負担を強いることなく、外国人を含む全住民が、県に24時間いつでも問合せ必要な情報を得ることが可能となること</p>																																						
<p>事業概要</p>	<p>県HPにAIチャットボットを設置することで、県民がいつでも簡単に県政情報を入力できる環境を整備し、県民利便性の向上及び職員の業務効率化を図る。 県民からの問い合わせに24時間対応するため、佐賀県ホームページに設置するAIチャットボットを多言語化、音声認識対応とすることで、日本語での対応が難しい外国人や、キーボード入力に困難な方にも、県からの情報を「いつでも」「どこでも」入手することが可能となる環境を整備する。 本事業の実施により、時間外の問い合わせに対応するとともに、問合せの内容や回答への満足度を把握し、それに対応することで、より一層の県民満足度の向上と職員の業務軽減を図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIチャットボット機能を配置する場所: 佐賀県ホームページ ・提供する情報(区分): 暮らし・子育て、健康・福祉、仕事・産業、観光・文化・スポーツ、県土・まちづくり、県政情報 ・多言語化する言語: 英語、中国語、韓国語、タイ語 ・音声入力機能付加 ・広報: 観光地等でQRコードを配布等 																																						
<p>交付対象事業費</p>	<p>4,152千円</p>																																						
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①AIチャットボット利用者数(回)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>36,000 (+36,000)</td> <td>42,000 (+6,000)</td> <td>48,000 (+6,000)</td> <td>(+48,000)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>104,745 (+104,745)</td> <td>136,593 (+31,848)</td> <td>—</td> <td>(+136,593)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②AIチャットボット利用者数(外国人)(言語)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>3 (+3)</td> <td>4 (+1)</td> <td>5 (+1)</td> <td>(+5)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>3 (+3)</td> <td>5 (+2)</td> <td>—</td> <td>(+5)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	①AIチャットボット利用者数(回)	目標	0	36,000 (+36,000)	42,000 (+6,000)	48,000 (+6,000)	(+48,000)	実績	0	104,745 (+104,745)	136,593 (+31,848)	—	(+136,593)	②AIチャットボット利用者数(外国人)(言語)	目標	0	3 (+3)	4 (+1)	5 (+1)	(+5)	実績	0	3 (+3)	5 (+2)	—	(+5)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																																	
①AIチャットボット利用者数(回)	目標	0	36,000 (+36,000)	42,000 (+6,000)	48,000 (+6,000)	(+48,000)																																	
	実績	0	104,745 (+104,745)	136,593 (+31,848)	—	(+136,593)																																	
②AIチャットボット利用者数(外国人)(言語)	目標	0	3 (+3)	4 (+1)	5 (+1)	(+5)																																	
	実績	0	3 (+3)	5 (+2)	—	(+5)																																	

<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">③回答満足度(%)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>70 (+70)</td> <td>80 (+10)</td> <td>85 (+5)</td> <td>(+85)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>98 (+98)</td> <td>99.6 (+1.6)</td> <td>—</td> <td>(+99.6)</td> </tr> </tbody> </table>						KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計	③回答満足度(%)	目標	0	70 (+70)	80 (+10)	85 (+5)	(+85)	実績	0	98 (+98)	99.6 (+1.6)	—	(+99.6)
KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計																				
③回答満足度(%)	目標	0	70 (+70)	80 (+10)	85 (+5)	(+85)																				
	実績	0	98 (+98)	99.6 (+1.6)	—	(+99.6)																				

<p>事業目的</p>	<p>現行の紙・ペンを使ったアナログ的な検査手法からデジタル技術を導入、タブレット端末を利用した検査手法に転換し検査の効率化・検査時間の大幅短縮による受検者の利便性向上や負担軽減を図ることで、高齢ドライバーの現免許制度上の問題を改善し、悲惨な交通事故の防止、安心・安全な交通環境の実現を達成する</p>	
<p>事業概要</p>	<p>75歳以上の高齢者が運転免許更新をする際に受検する認知機能検査について、タブレットを導入することにより、以下のような高齢者への支援充実が可能となることで、高齢ドライバーの現免許制度上の問題を改善し、悲惨な交通事故の防止、安心・安全な交通環境の実現を達成する。</p> <p>①集合形式から個人単位での検査が可能 認知機能検査は記憶力や判断力を測定する検査であり、現在、受検者は検査員の説明を受けながら検査用紙に回答を記入して行う方法がとられており、最大20名が1会場に集合して同時に検査を実施しているが、タブレットの導入に伴い、個人単位で順次受検することが可能となる。</p> <p>②受検者の拘束時間(検査による所要時間)の短縮 運転免許センターにおける認知機能検査は、年間1,000人から1,300人程度の利用人数が見込まれ、認知機能検査の受付から検査結果の通知まで約2時間程度を要しているが、タブレットの導入に伴い、合格点に達した時点で検査が終了となり検査自体が効率化されるとともに、個人単位で順次検査を受けられることから待ち時間を含めた検査所要時間が約2時間から約40分に縮減され、高齢者の負担軽減につながる。</p> <p>③感染症リスクの低減 複数の人が集合して行う従来の認知機能検査と比べ、順次個人単位での受検が可能となるとともに、受検者の長時間の拘束時間が短縮されることにより、感染症リスクが低減される。</p>	

<p>交付対象事業費</p>	<p>6,232千円</p>
----------------	----------------

KPI	KPI		事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	累計
	①受検者の利便性の向上(検査に要する所要時間)(分)	目標	0	50 (+50)	40 (▲10)	40 (0)	(+40)
	実績	0	40 (+40)	0 (0)	—	(+40)	
②受検者の利用満足度(%)	目標	0	60 (+60)	60 (0)	70 (+10)	(+70)	
	実績	0	94.4 (+94.4)	92.2 (▲2.2)	—	(+92.2)	